

事務事業評価調書

事務事業名	路線調査更新事業				
担当部名	土木部	室課名	道路室	室課長名	長 紳一郎

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和59年度	改正 内容	なし														
(2)	直 近 の 改 正	なし																
(3)	根拠法令等	道路法第28条																
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)														
		一部にチェックした場合はその説明																
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	50										
(6)	目 的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
			範囲等	市内の市道														
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市道の基礎的な情報を把握し、道路管理事務の円滑化を図り、速やかな情報提供を行う。															
		結果 (どのような効果が得られるのか)	現況台帳平面図更新・道路台帳調査更新(地方交付金に関する報告書作成のため) 道路台帳平面図更新・認定路線一覧表更新・認定路線網図更新(日常業務における照会対応のため)															
(7)	事業概要	道路法第28条に基づき、市が管理する道路の台帳を調製し保管する。																
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	2	目	1	大事業	2	中事業	1	小事業	1			
(9)	事業費と 財源の内訳	項 目			平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)									
					予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)									
		事業費(A)			8,000	7,990	8,000	7,998	8,000									
		人件費	職員数	人	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45									
			総額(B)	千円	3,735	3,577	3,759	3,759	3,677									
		総事業費(A+B)			11,735	11,567	11,759	11,757	11,677									
		特定財源(C)			0	0	0	0	0									
		(内 訳)	国		0	0	0	0	0									
			府		0	0	0	0	0									
			その他		0	0	0	0	0									
		市負担(D)			11,735	11,566	11,759	11,757	11,677									
		(内 訳)	地方債		0	0	0	0	0									
			その他		0	0	0	0	0									
			一般財源		11,735	11,566	11,759	11,757	11,677									
		財源計(C+D)			11,735	11,566	11,759	11,757	11,677									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社パスコ大阪支店													
				②														
				③														
		主な委託内容		測量、システムデータの更新														
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①														
				②														
				③														
		<input type="checkbox"/> その他	内容															

2 評価の指標等

指 標 項 目				項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標 内容	調書作成に必要な測量延長	目標値	(単位:m)	2,500.00	2,000.00	2,000.00	
				実績値	(単位:m)	2,500.00	2,000.00		
				達成度(%)		100.0	100.0		
		目標値 の積算 方法	調書作成に必要な測量延長	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4.63	5.88		
					一般財源(単位:千円)	4.63	5.88		
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標 内容	道路台帳調書整備済み市認定道路延長	目標値	(単位:m)	531,098.60	532,517.80	533,455.30	
				実績値	(単位:m)	530,517.80	531,455.30		
				達成度(%)		99.9	99.8		
		目標値 の積算 方法	道路台帳調書整備済み市認定道路延長	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.02	0.02		
					一般財源(単位:千円)	0.02	0.02		
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) の が困難な 場合を示す	①	活動 内容					目標		
	②	成果 内容					達成 状況		
(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
		評価の説明	現況台帳平面図更新、道路台帳調書更新、道路台帳平面図更新、認定路線一覧表更新、認定路線網図更新を行うにあたり、専門的な技術、経験、知識を要し、測量コンサルタントに委託をすることで効率的、効果的に成果を得ることができ、市民に対して速やかな情報の提供が可能となり、市民サービスの向上と、適切な道路の資産管理を行うことができる。						

事務事業分析シート

所属名	道路室				
事務事業番号	00707	事業名	路線調書更新事業	事業区分	その他

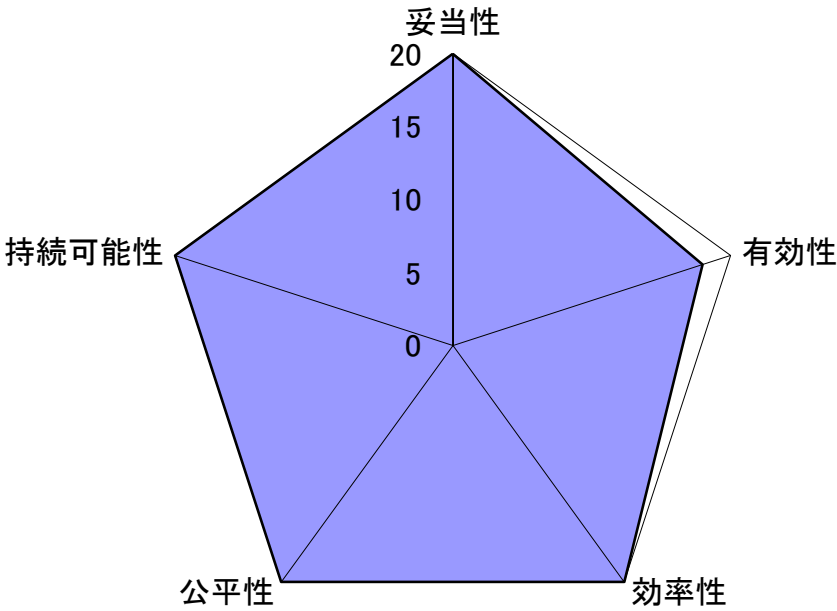
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点					
(1)	妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。					
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点			
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。					
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点			
(2)	有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。					
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。					
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。					
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点			
(3)	効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。					
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。					
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点			
			①単位当たりコストは適正ですか。					
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点			
(4)	公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。					
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点			
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。					
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。					
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。					
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点			
			②サービスの水準は適正ですか。					
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点			
			③適正な受益者負担を求めていますか。					
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。					
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。					
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。					
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点			
			評価点合計 (100点満点)		98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路室	事務事業番号	00707
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	現況台帳平面図更新、道路台帳調書更新、道路台帳平面図更新、認定路線一覧表更新、認定路線網図更新を行うにあたり、専門的な技術、経験、知識を要し、測量コンサルタントに委託をすることで効率的、効果的に成果を得ることができ、市民に対して速やかな情報の提供を行う事ができ市民サービスの向上と、適切な道路の資産管理を行うことができ、道路法に基づく事業であり今後も継続して行う。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	市道認定・廃止事業				
担当部名	土木部	室課名	道路室	室課長名	長 紳一郎

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし														
(2)	直 近 の 改 正	なし																
(3)	根拠法令等	道路法第8条 路線認定基準要綱																
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)														
		一部にチェックした場合はその説明																
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	50										
(6)	目 的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
			範囲等	認定または廃止を行おうとする道路														
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市道認定・廃止に必要な図面の作成を行う															
		結果 (どのような効果が得られるのか)	市道認定・廃止に必要な図面															
(7)	事業概要	市道の認定や、廃止するための手続きに必要な図面を作成する																
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	2	目	1	大事業	2	中事業	2	小事業	1			
(9)	事業費と 財源の内訳	項 目			平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)									
					予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)									
		事業費(A)			2,000	905	2,000	1,242	2,000									
		人件費	職員数	人	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45									
			総額(B)	千円	3,735	3,577	3,759	3,759	3,677									
		総事業費(A+B)			5,735	4,482	5,759	5,001	5,677									
		特定財源(C)			0	0	0	0	0									
		(内 訳)	国		0	0	0	0	0									
			府		0	0	0	0	0									
			その他		0	0	0	0	0									
		市負担(D)			5,735	4,481	5,759	5,001	5,677									
		(内 訳)	地方債		0	0	0	0	0									
			その他		0	0	0	0	0									
			一般財源		5,735	4,481	5,759	5,001	5,677									
		財源計(C+D)			5,735	4,481	5,759	5,001	5,677									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社水成コンサルタント													
				②														
				③														
				主な委託内容	図面の作成													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①														
				②														
				③														
		<input type="checkbox"/> その他	内容															

2 評価の指標等

指 標 項 目				項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標 内容	測量対象区域面積	目標値	(単位:㎡)	2,000.00	2,000.00	0.00
				実績値	(単位:㎡)	1,100.00	1,300.00	
				達成度(%)		55.0	65.0	
		目標値 の積算 方法	測量完了区域面積	単位当たり コスト	総事業費(単位:千円)	4.07	3.85	
					一般財源(単位:千円)	4.07	3.85	
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算 方法		単位当たり コスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算 方法		単位当たり コスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算 方法		単位当たり コスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合を示す	①	活動 内容	対象路線の土地所有者から所有権の寄附又は使用貸借契約が成立した市道への認定や既存市道の認定を廃止するための手続に必要な図面を作成させるものである。			目標	市道への認定や既存市道の認定を廃止するための手続に必要な図面の作成を行う	
	②	成果 内容	市道への認定や既存市道の認定を廃止するための手続に必要な図面			達成 状況	本事業は市道認定及び既存市道の廃止の件数により作業量や委託料が左右されるものであり、予算執行ができない場合もある	
(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
		評価の説明	本事業は、対象路線の土地所有者から所有権の寄附や使用貸借契約が成立した場合に、現地測量等を行う業務であり、市道認定及び既存市道の廃止の件数により作業量が左右され、年度によっては積算通りの予算執行が難しい場合もあるが、市道認定及び既存市道の廃止が生じれば、現地を測量し市道認定、廃止に必要な図面の作成が必須となるため、今後も継続する必要がある。また、この作業には、専門的な技術、経験、知識を要するため、測量コンサルタントに委託することで効率的、効果的に成果を得ることができている。					

事務事業分析シート

所属名	道路室				
事務事業番号	00708	事業名	市道認定・廃止事業	事業区分	その他

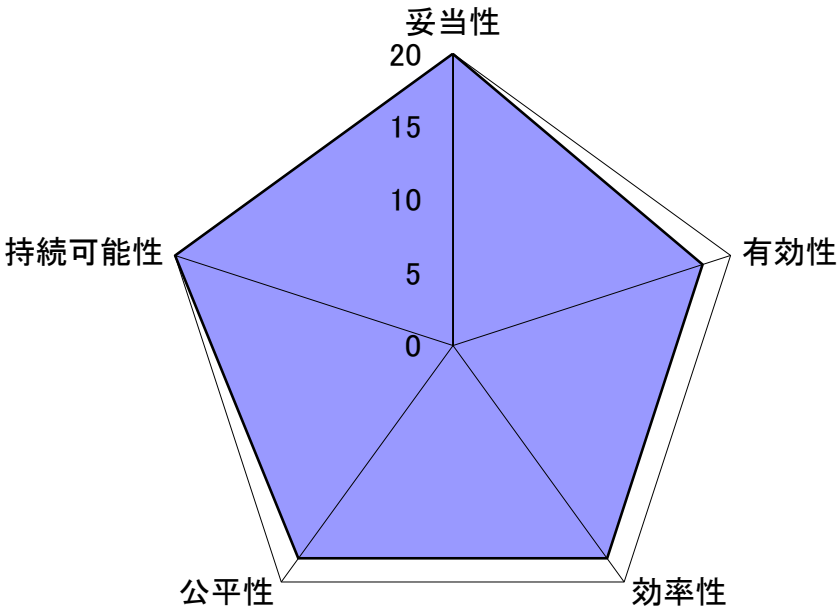
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点					
(1)	妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。					
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点			
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。					
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点			
(2)	有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。					
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。					
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。					
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点			
(3)	効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。					
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。					
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点			
			①単位当たりコストは適正ですか。					
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点			
(4)	公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。					
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点			
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。					
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。					
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。					
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点			
			②サービスの水準は適正ですか。					
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点			
			③適正な受益者負担を求めていますか。					
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。					
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。					
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。					
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点			
			評価点合計 (100点満点)		94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路室	事務事業番号	00708
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	本事業は、対象路線の所有権の寄附や使用貸借契約が成立した場合に市道認定及び既存市道の廃止が生じれば、現地を測量し市道認定、廃止に必要な図面の作成を行うため、専門的な技術、経験、知識を要し、測量コンサルタントに委託することで効率的、効果的に成果を得ることができている。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	用地図面作成事業				
担当部名	土木部	室課名	道路室	室課長名	長 紳一郎

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし不明												
(2)	直 近 の 改 正	なし														
(3)	根拠法令等	道路法第16条、建築基準法第42条														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明														
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	50								
(6)	目 的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他										
			範囲等	幅員4m未満の市道でかつ建築基準法第42条第2項の道路後退部分												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	道路後退部分の所有権を市に移転する													
		結果 (どのような効果が得られるのか)	市道の幅員が拡幅されることにより交通の安全と円滑に資する													
(7)	事業概要	幅員4m未満の市道でかつ建築基準法第42条第2項の道路に接する土地所有者から道路後退部分の土地の寄附を受ける場合に、寄附部分の所有権を移転するために必要な調査及び用地図面の作成を行う														
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	2	目	1	大事業	2	中事業	3	小事業	1	
(9)	事業費と 財源の内訳	項 目			平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
					予算(千円)		決算(千円)		予算(千円)		決算見込(千円)		予算(千円)			
		事業費(A)			29,000		28,977		29,000		29,533		29,000			
		人件費	職員数	人	0.60		0.60		0.60		0.60		0.60			
			総額(B)	千円	4,980		4,769		5,012		5,012		4,902			
		総事業費(A+B)			33,980		33,746		34,012		34,545		33,902			
		(内 訳)	特定財源(C)			0		0		0		0		0		
			国			0		0		0		0		0		
			府			0		0		0		0		0		
			その他			0		0		0		0		0		
		(内 訳)	市負担(D)			33,980		33,745		34,012		34,545		33,902		
			地方債			0		0		0		0		0		
			その他			0		0		0		0		0		
			一般財源			33,980		33,745		34,012		34,545		33,902		
財源計(C+D)			33,980		33,745		34,012		34,545		33,902					
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施														
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社橋本測地設計事務所											
				②												
				③												
				主な委託内容	用地調査、測量及び図面作成											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
				②												
				③												
<input type="checkbox"/> その他		内容														

2 評価の指標等

指 標 項 目				項 目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活 動 指 標	①	指 標 内 容	寄附の申請件数	目 標 値	(単 位 : 件)	68.00	68.00	60.00	
				実 績 値	(単 位 : 件)	51.00	55.00		
				達成度(%)		75.0	80.9		
		目 標 値 の 積 算 方 法	寄附申込件数	単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	661.69	628.09		
					一般財源(単位:千円)	661.69	628.09		
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00	
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目 標 値 の 積 算 方 法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成 果 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00	
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目 標 値 の 積 算 方 法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00	
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目 標 値 の 積 算 方 法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(3) が 困 難 な 場 合 示 す	①	活 動 内 容	寄附の申し込みがあった場合、必要な調書や図面を作成する。			目 標	道路後退部分の所有権を市に移転し、道路の拡幅をすることにより交通の安全を確保する。	
		②	成 果 内 容	市道の幅員が拡幅されることにより、交通の安全を確保する。			達 成 状 況	申請件数に対する申込件数の達成度は75%である。	
	(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 縮 小	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 終 期 の 設 定	
			評価の説明	本事業は現地を測量し寄附に必要な図面の作成を行うため、専門的な技術、経験、知識を要し、測量コンサルタントに委託をすることで効率的、効果的に成果を得ることができる。また、幅員4m未満の市道かつ建築基準法第42条第2項の道路後退部分の寄附に伴い、市道の幅員が拡幅されることにより、交通の安全と円滑化に資する効果もある。					

事務事業分析シート

所属名	道路室				
事務事業番号	00709	事業名	用地図面作成事業	事業区分	その他

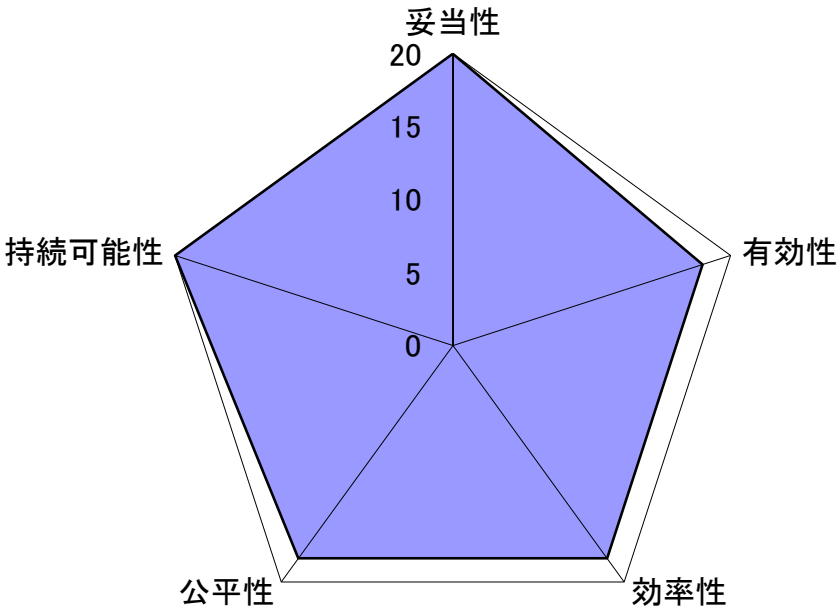
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点					
(1)	妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。					
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点			
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。					
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点			
(2)	有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。					
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。					
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。					
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点			
(3)	効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。					
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。					
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点			
			①単位当たりコストは適正ですか。					
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点			
(4)	公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。					
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点			
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。					
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。					
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。					
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点			
			②サービスの水準は適正ですか。					
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点			
			③適正な受益者負担を求めていますか。					
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点			
(6)	持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。					
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点			
(7)	持続可能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。					
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。					
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点			
			評価点合計 (100点満点)		94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路室	事務事業番号	00709
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	現地を測量し寄附により必要な図面の作成を行うため、専門的な技術、経験、知識を要し、測量コンサルタントに委託をすることで効率的、効果的に成果を得ることができる。また、幅員4m未満の市道かつ建築基準法第42条第2項の道路後退部分の寄附に伴ない、市道の幅員が拡幅され交通の安全と円滑化が図れている。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

2 評価の指標等

指 標 項 目				項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標 内容	不法に投棄、放置されている特定家庭用機器・自動車・自転車等の回収台数。	目標値	(単位:台)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:台)	382.00	333.00	
				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算 方法	年度の特定家庭用機器・自動車・自転車等の回収台数の総計。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	35.66	41.37	
					一般財源(単位:千円)	35.63	41.37	
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算 方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算 方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算 方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合を示す	①	活動 内容	不法に投棄、放置されている特定家庭用機器・自動車・自転車等の回収、処分を行う。			目標	発見、通報を受けたら可能な限り速やかに回収する。	
	②	成果 内容	道路の保全			達成 状況	確認が取れる物件への対応は100%(活動指標の達成度)	
(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小		<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 終期の設定
		評価の説明		原因者が不明の不法投棄物について、速やかに回収することにより、通行空間・安全・景観の確保を行っており、道路管理上、不法投棄が無くなるまでこの事業は継続せざるを得ないとする。				

事務事業分析シート

所属名	道路室				
事務事業番号	00710	事業名	不法投棄回収事業	事業区分	その他

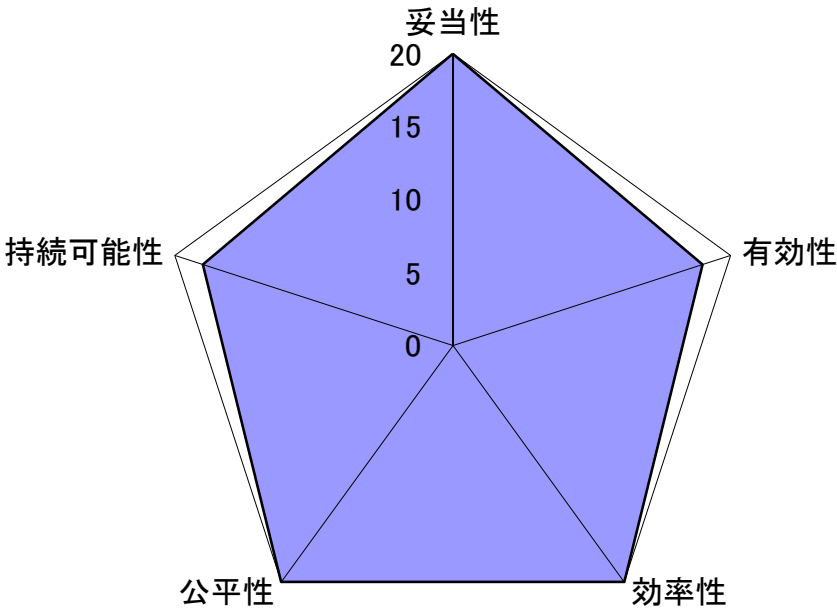
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1)	妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点	
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点	
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
(2)	有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点	
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
			②事業の目的と受益者が一致していますか。			
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
(3)	効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
			①単位当たりコストは適正ですか。			
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
(4)	公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
(5)	持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。			
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点	
			②サービスの水準は適正ですか。			
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
			③適正な受益者負担を求めていますか。			
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
(5)	持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。			
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(5)	持続可能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点	
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点	
			← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			
			評価点合計 (100点満点)		96	

所属名	道路室	事務事業番号	00710
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	件数は長期的にみると年々減少傾向にあるが、いまだに投棄されているのが現状である。道路管理上、不法投棄が無くなるまで必要な事業である。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成28年度より、放置自転車の対応については、総務交通室において実施。

2 評価の指標等

指 標 項 目				項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標 内容	測量する調査面積	目標値	(単位:km2)	0.26	0.35	0.44
				実績値	(単位:km2)	0.26	0.35	
				達成度(%)		100.0	100.0	
		目標値 の積算 方法	測量した調査予定面積	単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	47,438.46	39,637.14	
					一般財源(単位:千円)	25,630.77	20,660.00	
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合示す	①	活動 内容	官民境界について測量を行い、地図の数値化データや図面データを作成し、基礎的情報の調査を行う。			目標	管理する道路区域の座標値を地権者等に対して速やかに提供する。管理する道路区域が明確にされ、道路管理行政の円滑化が図られる	
	②	成果 内容	道路境界標等のデータの一元化を図ることで、境界標のメンテナンスが容易になる。道路境界の確定、全庁型GISの資料として有効な成果を得られる。			達成 状況	市内30町丁目の道路について、調査済みであるが、補助金事業でもあるため、調査面積は、補助金額により左右される。	
(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
		評価の説明		市道に接する土地所有者との道路境界標及び基準点の測量には、専門的な技術、経験、知識を要し、測量コンサルタントに委託をすることで効率的、効果的に成果を得ることができ、市民に対し基礎的な境界情報を速やかに提供することが可能となり、また、管理する道路区域が明確にされ適切な道路の資産管理を行うことができるため、道路管理行政の円滑化が図れる。さらに、土地境界をめぐるトラブルの未然防止や災害時に復旧の迅速化が図れる。				

事務事業分析シート

所属名	道路室				
事務事業番号	00711	事業名	すいた地籍調査官民境界等先行型促進事業	事業区分	その他

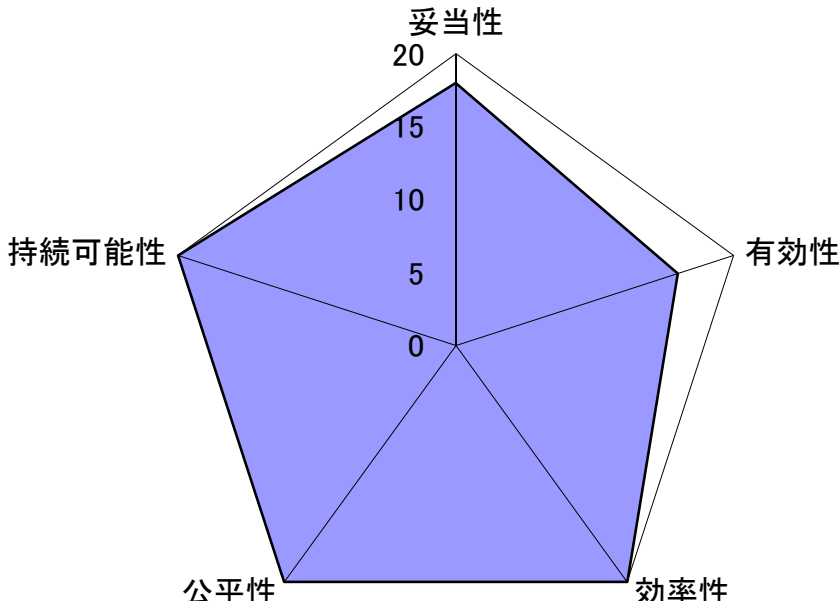
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点					
(1)	妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。					
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点			
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。					
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点			
(2)	有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。					
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。					
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。					
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点			
(3)	効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。					
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。					
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点			
			①単位当たりコストは適正ですか。					
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点			
(4)	公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。					
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点			
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。					
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。					
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。					
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点			
			②サービスの水準は適正ですか。					
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点			
			③適正な受益者負担を求めていますか。					
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。					
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。					
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。					
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点			
			評価点合計 (100点満点)		94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路室	事務事業番号	00711
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	道路境界標及び基準点の測量を測量コンサルタントに委託をすることで効率的、効果的に成果を得ることができている。また全市域で事業完了はしていないが、事業の進捗により少しずつであるが、市民に対し基礎的な境界情報が速やかに提供され、さらに、管理する道路区域が明確にされ適切な道路の資産管理を行うことが可能となり、道路管理行政の円滑化が図れつつある。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	吹田操車場跡地管理事業				
担当部名	土木部	室課名	道路室	室課長名	長 紳一郎

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成25年度	改正 内容	なし														
(2)	直 近 の 改 正	なし																
(3)	根拠法令等	道路法																
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)														
		一部にチェックした場合はその説明																
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	50										
(6)	目 的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他												
			範囲等	吹田操車場跡地道路施設														
		目標 (どういう状態にしたいのか)	道路施設の適正な維持管理															
		結果 (どのような効果が得られるのか)	安心安全な通行と道路施設の適切な維持管理															
(7)	事業概要	吹田操車場跡地道路施設の光熱水費及び委託料(電気設備等点検、保安・警備・清掃、樹木管理)による維持管理																
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	2	目	2	大事業	1	中事業	1	小事業	2			
(9)	事業費と 財源の内訳	項 目			平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)									
					予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)									
		事業費(A)			35,242	20,836	39,130	28,040	65,733									
		人件費	職員数	人	1.00	0.20	0.20	0.20	0.30									
			総額(B)	千円	8,300	1,590	1,671	1,671	2,451									
		総事業費(A+B)			43,542	22,426	40,801	29,711	68,184									
		特定財源(C)			0	0	0	0	0									
		(内 訳)	国		0	0	0	0	0									
			府		0	0	0	0	0									
			その他		0	0	0	0	0									
		市負担(D)			43,542	22,425	40,801	29,711	68,184									
		(内 訳)	地方債		0	0	0	0	0									
			その他		0	0	0	0	0									
			一般財源		43,542	22,425	40,801	29,711	68,184									
		財源計(C+D)			43,542	22,425	40,801	29,711	68,184									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	三菱ビルテクノサービス(株)													
				②	(株)アールシーエス													
				③	大商造園(株)ほか													
			主な委託内容	電気設備等点検、保安・清掃、樹木維持管理														
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①														
				②														
				③														
		<input type="checkbox"/> その他	内容															

2 評価の指標等

指 標 項 目				項 目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)					
(1) 活 動 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00					
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00						
				達 成 度 (%)		0.0	0.0						
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00					
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00						
				達 成 度 (%)		0.0	0.0						
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
(2) 成 果 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00					
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00						
				達 成 度 (%)		0.0	0.0						
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00					
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00						
				達 成 度 (%)		0.0	0.0						
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
(3) が 困 難 な 場 合 示 す	①	活 動 内 容	吹田操車場跡地道路施設の維持管理				目 標	道路施設の適正な維持管理					
	②	成 果 内 容	安心安全な通行と道路施設の適切な維持管理				達 成 状 況	年度ごとに適正な維持管理を行っている					
(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡 充		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続		<input type="checkbox"/> 縮 小		<input type="checkbox"/> 廃 止		<input type="checkbox"/> 終 期 の 設 定	
		評価の説明		施設等の維持管理のための光熱水費の支出及び各種施設の点検、保守及び清掃等を委託により実施しており、適正な維持管理を行うことで、良好な道路環境及び通行空間を維持していくため、今後も継続していく必要がある。									

事務事業分析シート

所属名	道路公園部 道路室				
事務事業番号	00712	事業名	吹田操車場跡地管理事業	事業区分	内部管理

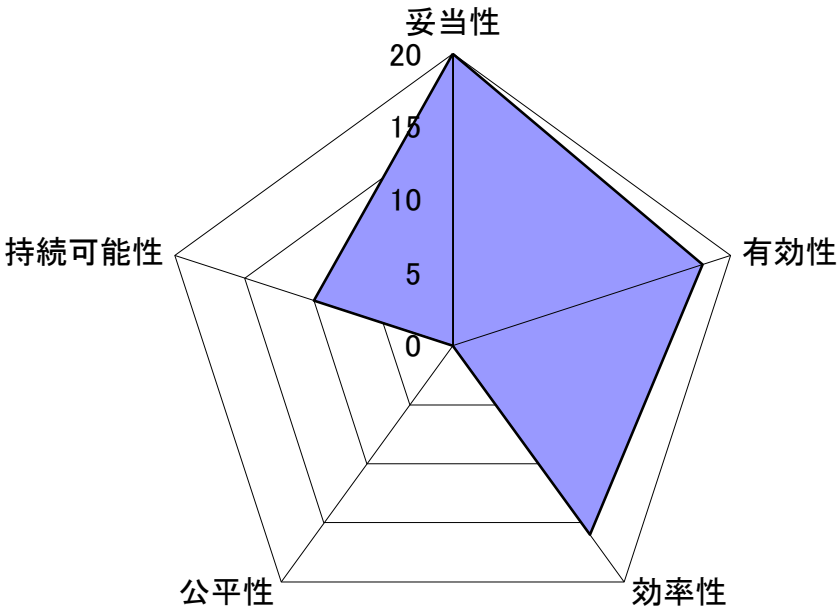
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点					
(1)	妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。					
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点			
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。					
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点			
(2)	有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。					
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。					
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。					
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点			
(3)	効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。					
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。					
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点			
			①単位当たりコストは適正ですか。					
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点			
(4)	公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。					
			b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点			
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。					
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。					
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点			
(5)	持続可能性 (20点)	10	①サービスの対象範囲は適正ですか。					
			内部管理		点			
			②サービスの水準は適正ですか。					
			内部管理		点			
			③適正な受益者負担を求めていますか。					
			内部管理		点			
(5)	持続可能性 (20点)	10	④公平性を確保するための取組みをしていますか。					
			内部管理		点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。					
			c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点			
(5)	持続可能性 (20点)	10	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。					
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。					
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点			
			評価点合計 (100点満点)		80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路公園部 道路室	事務事業番号	00712
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	吹田操車場跡地道路施設の光熱水費及び委託料(電気設備点検、保安・警備・清掃、樹木管理)による維持管理であるが、今後さらに管理面積は増えていくため、新たな予算の確保が必要となってくる。道路経常管理事業において実施している他の管理施設に係る予算とのバランスも見極めながら、限られた予算の中で効率的に実施できるよう、方法を検討していきたい。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	路線道路補修事業				
担当部名	土木部	室課名	道路室	室課長名	長 紳一郎

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし														
(2)	直 近 の 改 正	なし																
(3)	根拠法令等	道路法、道路構造令																
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)														
		一部にチェックした場合はその説明																
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	50										
(6)	目 的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他												
			範囲等	市認定道路、市管理道路及び道路施設														
		目標 (どういう状態にしたいのか)	良好な道路維持管理を行うため、道路施設の破損箇所の迅速な補修															
		結果 (どのような効果が得られるのか)	歩行者、自転車及び車両の安全な通行の確保															
(7)	事業概要	市が管理している道路及び道路施設について、緊急性、安全性を考慮し、経年劣化や破損している箇所の補修及び改良工事																
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	2	目	2	大事業	2	中事業	1	小事業	1			
(9)	事業費と 財源の内訳	項 目			平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)									
					予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)									
		事業費(A)			217,288	211,781	217,288	212,835	222,288									
		人件費	職員数	人	4.00	3.00	2.50	2.50	3.00									
			総額(B)	千円	33,200	23,841	20,880	20,880	24,510									
		総事業費(A+B)			250,488	235,622	238,168	233,715	246,798									
		特定財源(C)			0	22	0	0	0									
		(内 訳)	国		0	0	0	0	0									
			府		0	0	0	0	0									
			その他		0	22	0	0	0									
		市負担(D)			250,488	235,600	238,168	233,715	246,798									
		(内 訳)	地方債		0	0	0	0	0									
			その他		0	0	0	0	0									
			一般財源		250,488	235,600	238,168	233,715	246,798									
		財源計(C+D)			250,488	235,622	238,168	233,715	246,798									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	森繁建設(株)													
				②	岩本工業(株)													
				③	八生建設(株)													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容														
				①														
				②														
				③														
		<input type="checkbox"/> その他		内容														

2 評価の指標等

指 標 項 目				項 目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活 動 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00	
				達 成 度 (%)		0.0	0.0	
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00	
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00	
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00	
				達 成 度 (%)		0.0	0.0	
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00	
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00	
(2) 成 果 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00	
				達 成 度 (%)		0.0	0.0	
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00	
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00	
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00	
				達 成 度 (%)		0.0	0.0	
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00	
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00	
(3) が 困 難 な 場 合 示 合 す	①	活 動 内 容	市が管理している道路及び道路施設について、経年劣化や破損している箇所の補修及び改良工事			目 標	道路の適切な維持管理	
	②	成 果 内 容	市民要望に適切に対応し、道路の維持を行っている。			達 成 状 況	必要に応じた対応	
(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 縮 小	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 終 期 の 設 定
		評価の説明		道路の安全な通行確保のために必要な事業である。				

事務事業分析シート

所属名	道路室				
事務事業番号	00713	事業名	路線道路補修事業	事業区分	内部管理

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

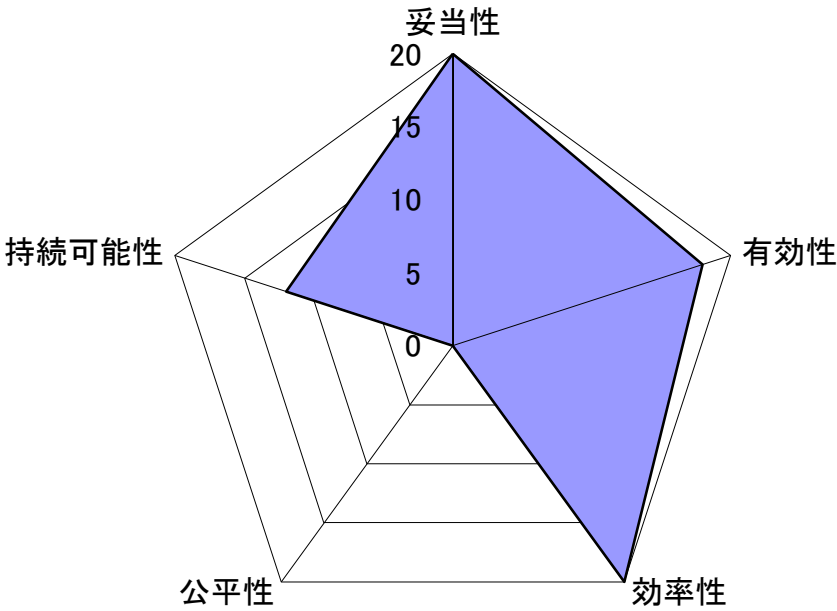
評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点					
(1)	妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。					
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点			
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。					
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点			
(2)	有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。					
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。					
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。					
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点			
(3)	効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。					
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。					
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点			
			①単位当たりコストは適正ですか。					
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点			
(4)	公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。					
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点			
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。					
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。					
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	12	①サービスの対象範囲は適正ですか。					
			内部管理		点			
			②サービスの水準は適正ですか。					
			内部管理		点			
			③適正な受益者負担を求めていますか。					
			内部管理		点			
(5)	持続可能性 (20点)	12	④公平性を確保するための取組みをしていますか。					
			内部管理		点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。					
			c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点			
(5)	持続可能性 (20点)	12	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。					
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。					
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点			
			評価点合計 (100点満点)		87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路室	事務事業番号	00713
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

道路構造物の経年劣化の進行に加え、管理対象施設が増加しており、より効果的な補修が求められる。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	供用中の市管理道路における補修を実施することから、市民の安心安全なまちづくりを進めるうえで、必要不可欠な事業となる。管理対象施設が増加していることも含め、今後も効率的かつ効果的に実施することが求められる。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

2 評価の指標等

指 標 項 目				項 目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)		
(1) 活 動 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00		
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00			
				達 成 度 (%)		0.0	0.0			
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00			
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00			
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00		
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00			
				達 成 度 (%)		0.0	0.0			
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00			
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00			
(2) 成 果 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00		
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00			
				達 成 度 (%)		0.0	0.0			
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00			
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00			
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00		
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00			
				達 成 度 (%)		0.0	0.0			
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00			
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00			
(3) が 困 難 な 場 合 示 合 す	①	活 動 内 容	狭小幅員整備事業				目 標	道路拡幅による通行の安全確保		
	②	成 果 内 容	寄付等に伴い道路整備を実施				達 成 状 況	寄付等に伴い拡幅		
(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 縮 小		<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 終 期 の 設 定	
		評価の説明		個人所有地の寄付等に伴い改善されるもので、一路線全体ではなく部分的な改善ではあるが、通行者の安全性・利便性の向上は顕著であり事業効果は高いと考えられる。 平成27年度においても、40件の工事を施工しており、今後も継続が妥当であると考えられる。						

事務事業分析シート

所属名	道路室				
事務事業番号	00714	事業名	狭小幅員整備事業	事業区分	内部管理

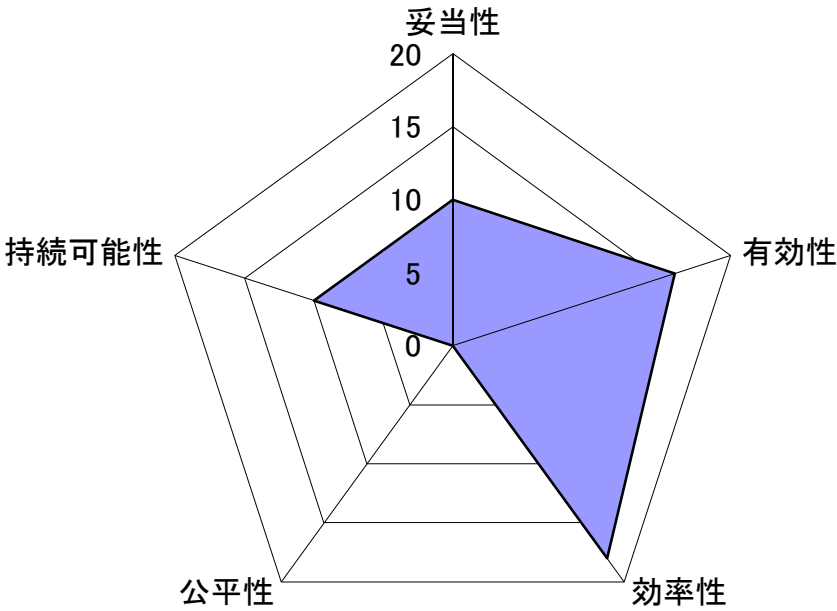
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1)	妥当性 (20点)	10	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
			c. 市が必ずしも関与する必要がない事業である。(1点)	1	点	
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
			b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点	
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点	
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
(2)	有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
			②事業の目的と受益者が一致していますか。			
			b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点	
			③事業は目標どおりに進捗していますか。			
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
(3)	効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。			
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
(4)	公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。			
			内部管理		点	
			②サービスの水準は適正ですか。			
			内部管理		点	
			③適正な受益者負担を求めていますか。			
			内部管理		点	
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
			内部管理		点	
(5)	持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。			
			c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点	
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点	
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
評価点合計 (100点満点)		67	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

所属名	道路室	事務事業番号	00714
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>個人所有地の市へ寄付された土地の舗装及び排水構造物の設置により、道路利用者にとって安全性・利便性が格段に向上するため、事業効果は高いと考えられる。 他市では、整備工事費用に対する助成金の交付等により事業実施しているところもある。本市においても、同様の実施手法に変更するなど、予算縮減の可能性について検討していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

2 評価の指標等

指 標 項 目				項 目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活 動 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00	
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00		
				達 成 度 (%)		0.0	0.0		
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00		
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00		
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00	
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00		
				達 成 度 (%)		0.0	0.0		
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00		
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00		
(2) 成 果 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00	
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00		
				達 成 度 (%)		0.0	0.0		
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00		
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00		
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00	
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00		
				達 成 度 (%)		0.0	0.0		
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00		
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00		
	の 3 が 困 難 な 場 合 を 示 す	①	活 動 内 容	側溝補修事業			目 標	通行の安全確保	
		②	成 果 内 容	側溝の改修			達 成 状 況	順次整備	
(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 縮 小	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 終 期 の 設 定	
		評価の説明		歩行者・自転車及び車両の安全確保のために必要な事業であるが、近年、要望数も減少していることから、側溝補修に特化した事業ではなく、平成28年度からは、関連する路線道路補修事業に統合することとした。					

事務事業分析シート

所属名	道路室				
事務事業番号	00715	事業名	側溝補修事業	事業区分	内部管理

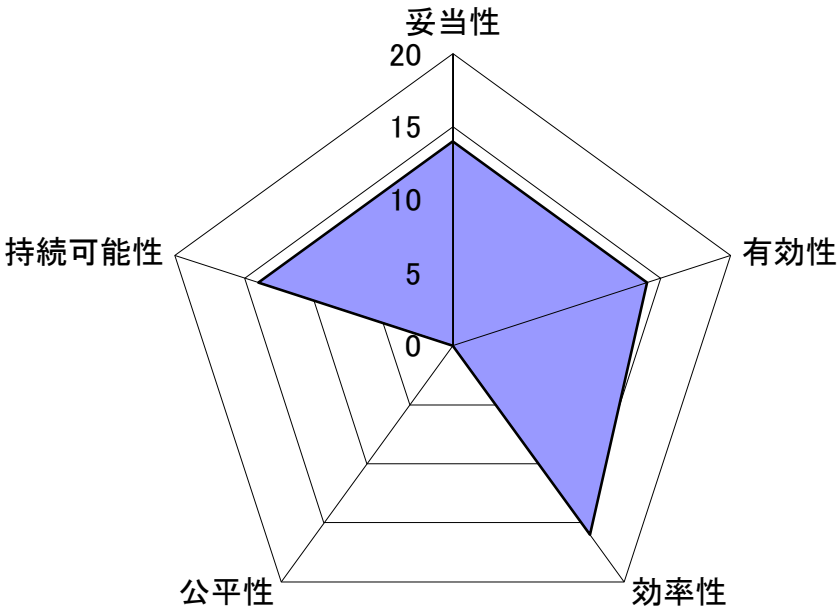
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2)	有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3)	効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4)	公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			内部管理		点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
(5)	持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)		72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路室	事務事業番号	00715
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	深さのある側溝は危険度が高いため、整備を進める必要があるが、近年、要望数も減少していることから、側溝補修に特化した事業ではなく、関連する路線道路補修事業へ平成28年度より統合することとする。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

2 評価の指標等

指 標 項 目				項 目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活 動 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00	
				達 成 度 (%)		0.0	0.0	
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00	
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00	
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00	
				達 成 度 (%)		0.0	0.0	
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00	
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00	
(2) 成 果 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00	
				達 成 度 (%)		0.0	0.0	
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00	
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00	
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00	
				達 成 度 (%)		0.0	0.0	
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00	
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00	
(3) が 困 難 な 場 合 を 示 す	①	活 動 内 容	路側帯安全対策事業			目 標	通行の安全確保	
	②	成 果 内 容	グリーンウォークの設置			達 成 状 況	必要に応じた対応	
(4) 総 合 評 価		今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 縮 小	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 終 期 の 設 定
		評価の説明		道路の安全な通行確保のために必要な事業である。				

事務事業分析シート

所属名	道路室				
事務事業番号	00716	事業名	路側帯安全対策事業	事業区分	その他

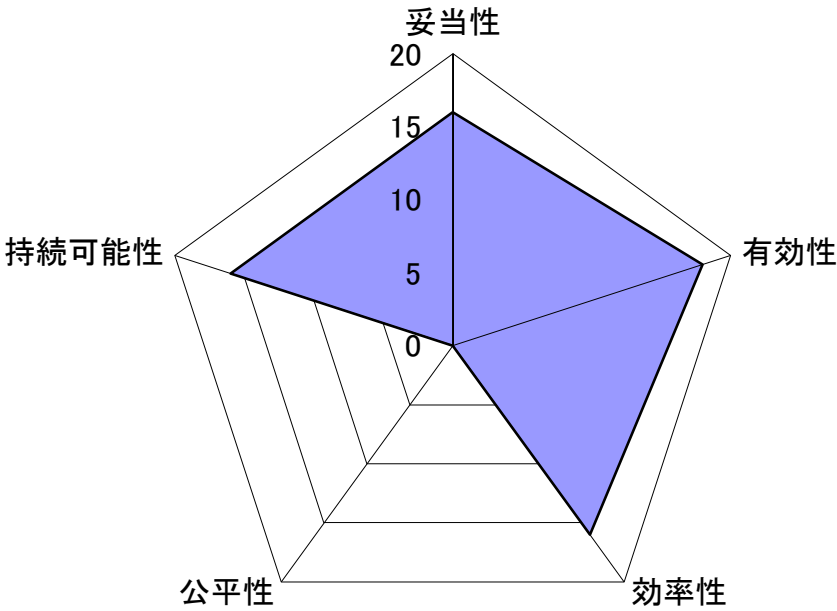
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点					
(1)	妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。					
			b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点			
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。					
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点			
(2)	有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。					
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。					
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。					
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点			
(3)	効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。					
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。					
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点			
			①単位当たりコストは適正ですか。					
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点			
(4)	公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。					
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点			
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。					
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。					
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点			
(5)	持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。					
			内部管理		点			
			②サービスの水準は適正ですか。					
			内部管理		点			
			③適正な受益者負担を求めていますか。					
			内部管理		点			
(5)	持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。					
			内部管理		点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。					
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。					
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点			
			評価点合計 (100点満点)		82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路室	事務事業番号	00716
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	地元からの要望に伴い新規整備を行うとともに、劣化した箇所メンテナンスが必要となる。このため、今後は維持補修費の増大を考慮し、整備路線の選定条件の精査が必要となる。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

2 評価の指標等

指 標 項 目				項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)					
(1) 活動指標	①	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00					
				実績値	(単位:)	0.00	0.00						
				達成度(%)		0.0	0.0						
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00						
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00						
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00					
				実績値	(単位:)	0.00	0.00						
				達成度(%)		0.0	0.0						
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00						
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00						
(2) 成果指標	①	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00					
				実績値	(単位:)	0.00	0.00						
				達成度(%)		0.0	0.0						
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00						
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00						
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00					
				実績値	(単位:)	0.00	0.00						
				達成度(%)		0.0	0.0						
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00						
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00						
(3) が困難な場合を示す	①	活動 内容	市内各路線の道路舗装の新設及び改良を行う				目標	道路施設機能の改良を行い、安全で快適な道路環境整備を促進して、社会生活の安全性及び利便性の向上を図る					
	②	成果 内容	施工20路線				達成 状況	平成27年度18,753㎡					
(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充		<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 縮小		<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 終期の設定	
		評価の説明		損傷した道路舗装の更新により道路利用者や周辺住民の安全性、快適性が増進する。また、高機能舗装(排水性舗装)や透水性舗装を採用することにより、道路交通騒音の低減や都市のヒートアイランド現象の緩和、都市型洪水の抑制など環境面での配慮が期待できる。									

事務事業分析シート

所属名	道路室				
事務事業番号	00717	事業名	路線道路舗装事業	事業区分	建設事業

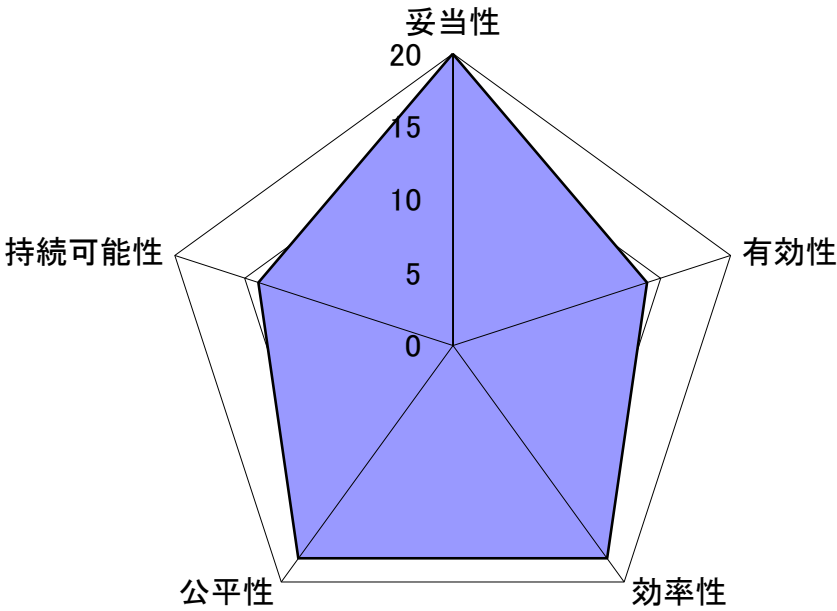
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2)	有効性 (20点)	14	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(3)	効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(4)	公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(5)	持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5)	持続可能性 (20点)	14	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
			c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
評価点合計 (100点満点)	84		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
			← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路室	事務事業番号	00717
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	毎年、市民からの要望や市職員による調査等から、機能低下した市道舗装の復旧必要箇所が多数あげられるが、予算は毎年減少傾向にあるため路線の選定は慎重に決定している。道路の機能は供用開始から徐々に低下する中、道路管理レベルを一定に保つことは、利用者への安全はもちろん、舗装の長寿命化(トータルコスト低減)につながる。そのためには、継続的なメンテナンスが必要と考えられる。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

2 評価の指標等

指 標 項 目				項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標 内容	問合せ件数	目標値	(単位: 件)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位: 件)	5.00	2.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法	私道舗装工事助成金交付要綱に適合すれば、工事費を助成し、所有者負担を軽減する。また、私道利用者の安全と利便性向上を図る。	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	359.00	588.00		
					一般財源(単位: 千円)	359.00	588.00		
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00		
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00		
	(3) が困難な場合を示す	①	活動 内容	公共性が高く市道に準じる私道に対して、私道舗装工事助成金交付要綱に適合すれば工事費の4分の3又は500, 000円のいずれか少ない額を助成し、所有者負担の軽減を行う。			目標	私道を利用する通行者の安全性及び利便性の向上を図る。	
		②	成果 内容	問い合わせ件数2件			達成 状況	助成件数1件	
(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
		評価の説明	市認定道路の舗装改良要望に十分応えられていない財政状況ではあるが、助成要望はあり、事業効果が高く、併せて申請者の評価も良好なため、他市の動向も視野に入れながら事業の継続を検討する必要がある。						

事務事業分析シート

所属名	道路室				
事務事業番号	00718	事業名	私道舗装助成事業	事業区分	建設事業

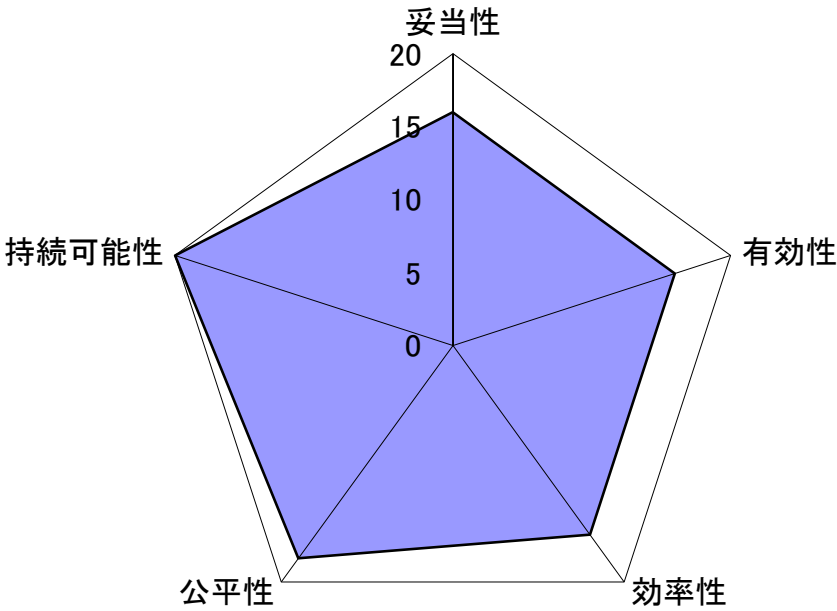
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点					
(1)	妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。					
			b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点			
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。					
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点			
(2)	有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。					
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。					
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。					
			b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点			
(3)	効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。					
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。					
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点			
			①単位当たりコストは適正ですか。					
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点			
(4)	公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。					
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点			
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。					
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。					
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。					
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点			
			②サービスの水準は適正ですか。					
			b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点			
			③適正な受益者負担を求めていますか。					
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。					
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。					
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。					
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点			
			評価点合計 (100点満点)		86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路室	事務事業番号	00718
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	市への寄附等が困難で、公共性が高く市道に準じる私道に対して舗装工事の助成を行い、私道所有者の負担を軽減することができる。 助成を行うことにより、通行者の利便性と住環境の整備が向上し、安全で快適な生活道路の整備が図られる。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	道路新設改良事業				
担当部名	土木部	室課名	道路室	室課長名	長 紳一郎

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし														
(2)	直 近 の 改 正	なし																
(3)	根拠法令等	道路法																
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)														
		一部にチェックした場合はその説明																
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	50										
(6)	目 的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他												
			範囲等	市内一般道路														
		目標 (どういう状態にしたいのか)	道路機能を改良する															
		結果 (どのような効果が得られるのか)	交通の安全性及び快適性の向上															
(7)	事業概要	市内各地の道路の新設・改良を行う。 また、新設改良時に交通安全上必要な用地を取得する。																
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	2	目	4	大事業	1	中事業	1	小事業	1			
(9)	事業費と 財源の内訳	項 目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)										
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)										
		事業費(A)		657	0	5,816	1,363	10,446										
		人件費	職員数	人	0.15	0.00	0.50	0.50	0.50									
			総額(B)	千円	1,245	0	4,176	4,176	4,085									
		総事業費(A+B)		1,902	0	9,992	5,539	14,531										
		特定財源(C)		0	0	0	0	0										
		(内 訳)	国	0	0	0	0	0										
			府	0	0	0	0	0										
			その他	0	0	0	0	0										
		市負担(D)		1,902	0	9,992	5,539	14,531										
		(内 訳)	地方債	0	0	0	0	0										
			その他	0	0	0	0	0										
			一般財源	1,902	0	9,992	5,539	14,531										
		財源計(C+D)		1,902	0	9,992	5,539	14,531										
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	建設コンサルタント													
				②														
				③														
				主な委託内容	工事の設計													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①														
				②														
				③														
		<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	請負工事による市施工														

2 評価の指標等

指 標 項 目				項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標 内容	整備路線数	目標値	(単位:件)	1.00	1.00	2.00	
				実績値	(単位:件)	0.00	1.00		
				達成度(%)		0.0	100.0		
		目標値 の積算 方法	実施計画に基づく整備路線数 (工事、設計、用地取得等の各路線合計)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	5,539.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	5,539.00		
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動 内容	市内各路線の道路施設の改良を行う。				目標	道路施設機能の改良を行い、安全で快適な道路環境整備を促進して、社会生活の安全性及び利便性の向上を図る。	
	②	成果 内容	安全で快適な交通環境づくりを行うことにより、社会生活の利便性及び安全性の向上を図る。				達成 状況	多数の要望等の中、必要箇所において道路の新設・改良を順次行っており、引続き整備を行っていく必要がある。	
(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
		評価の説明		通学児童の安全確保及び、急速な高齢社会を迎える中で市民の自立した社会生活の向上を図るためには、安全で快適な歩行空間を形成していく必要があり、重点的に実施していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	道路室				
事務事業番号	00719	事業名	道路新設改良事業	事業区分	建設事業

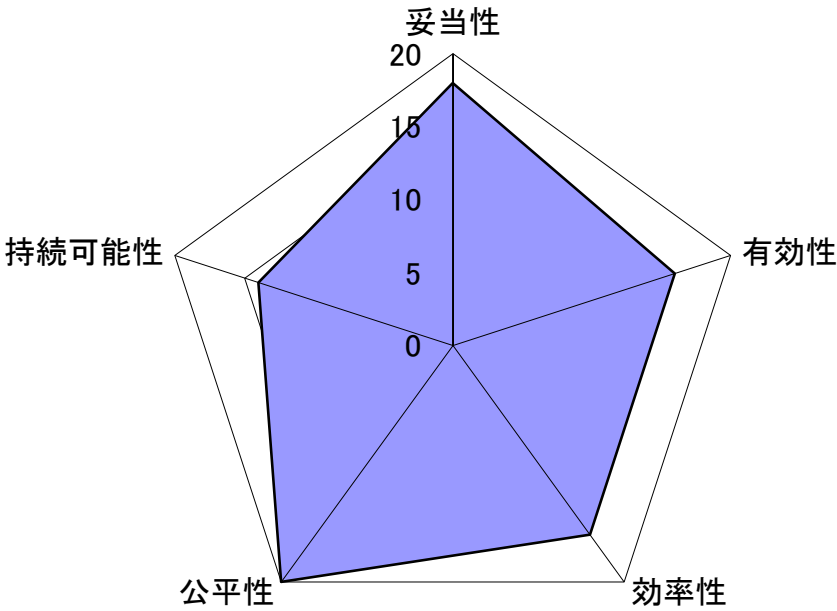
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点					
(1)	妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。					
			b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点			
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。					
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点			
(2)	有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。					
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。					
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。					
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点			
(3)	効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。					
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。					
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点			
			①単位当たりコストは適正ですか。					
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点			
(4)	公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。					
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点			
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。					
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。					
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点			
(5)	持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。					
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点			
			②サービスの水準は適正ですか。					
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点			
			③適正な受益者負担を求めていますか。					
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	14	④公平性を確保するための取組みをしていますか。					
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。					
			b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点			
(5)	持続可能性 (20点)	14	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。					
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。					
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点			
			評価点合計 (100点満点)		84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路室	事務事業番号	00719
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>事業効果を、直接的に数値で表すことができず、事業について評価しづらい点がある。 しかし、社会基盤施設である道路のサービス水準を高めることは必要不可欠であり、特に、快適な移動空間を整備することは、移動時間の短縮や移動の安全性を図ることができ、市民生活の向上につながることから、今後も引続き、事業実施していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

2 評価の指標等

指 標 項 目				項 目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活 動 指 標	①	指 標 内 容	道路事業用地の取得	目 標 値	(単 位 : ㎡)	1,030.00	840.00	840.00	
				実 績 値	(単 位 : ㎡)	185.93	0.00		
				達成度(%)		18.1	0.0		
		目 標 値 の 積 算 方 法	平成23年度～26年度までの4か年で、用地3, 100㎡を取得する	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	899.10	0.00		
					一般財源(単位:千円)	25.93	0.00		
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00	
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目 標 値 の 積 算 方 法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成 果 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00	
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目 標 値 の 積 算 方 法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00	
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目 標 値 の 積 算 方 法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	の(3)が困難な場合を示す	①	活 動 内 容	都市計画道路十三高槻線(正雀工区)の取付道路である本市道を整備する			目 標	道路用地を取得し、その後、整備を行う	
		②	成 果 内 容	本市道を整備することにより、都市計画道路十三高槻線(正雀工区)取付道路の利便性等が向上する			達 成 状 況	平成26年度末現在、道路用地の取得率は約73%	
	(4)総合評価		今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 縮 小	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 終 期 の 設 定	
			評価の説明	本事業は、その目的からも大阪府施行の都市計画道路十三高槻線(正雀工区)と一体的に実施していく必要があることから、事業費については、費用の全額を大阪府からの負担金で実施している。今後も、大阪府と相互に協力し、総合的に事業を推進し、早期完成を目指す必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	道路室				
事務事業番号	00720	事業名	都市計画道路十三高槻線(正雀工区)取付道路新設事業	事業区分	建設事業

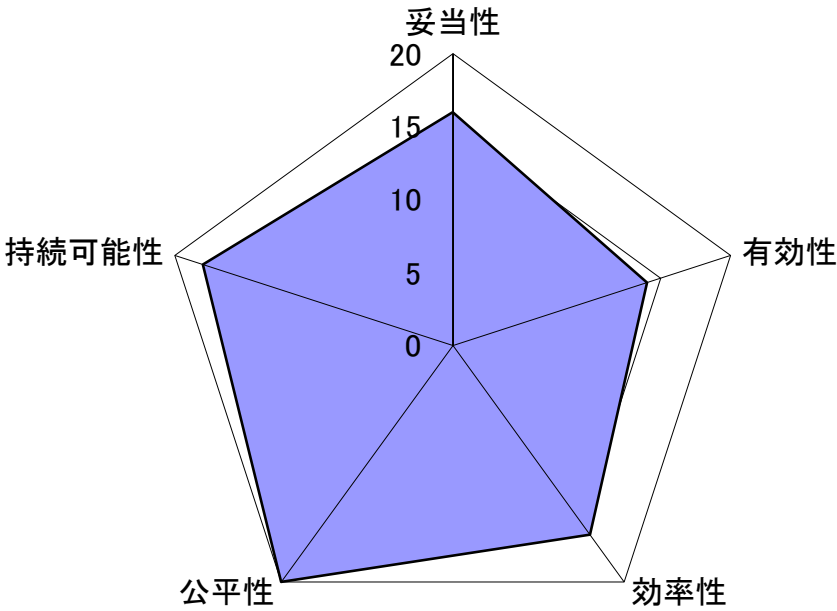
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点					
(1)	妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。					
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点			
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。					
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点			
(2)	有効性 (20点)	14	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。					
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。					
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。					
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点			
(3)	効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。					
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。					
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点			
			①単位当たりコストは適正ですか。					
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点			
(4)	公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。					
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点			
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。					
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。					
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点			
(5)	持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。					
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点			
			②サービスの水準は適正ですか。					
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点			
			③適正な受益者負担を求めていますか。					
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。					
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。					
			b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点			
(5)	持続可能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。					
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。					
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点			
			評価点合計 (100点満点)		84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路室	事務事業番号	00720
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>輸送機能の充実、移動時間の短縮及び災害時の多重性・代替性を確保するための都市計画道路十三高槻線(正雀工区)の早期完成のためには、本取付道路の整備が必要不可欠である。このため、重点的に、本取付道路新設を推進していく必要がある。このような中で、現在、事業用地の取得に努めているところであり、今後も引続き、事業用地の取得を行い、都市計画道路十三高槻線(正雀工区)にあわせて、整備を行う必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

大阪府が実施している都市計画道路十三高槻線(正雀工区)が、平成26年4月に一部供用開始された。今後、全線完成に向けて、取付道路事業(本事業)の早期完成を目指す必要がある。

事務事業評価調書

事務事業名	交通安全施設整備事業				
担当部名	土木部	室課名	道路室	室課長名	長 紳一郎

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和41年度	改正 内容	ゼロクリアにより交差点改良事業・道路照明整備事業・反射鏡設置事業・道路区画線整備事業・防護柵施設整備事業を統合														
(2)	直 近 の 改 正	平成22年度																
(3)	根拠法令等	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律・交通安全施設等整備事業に関する緊急措置法・交通安全対策基本																
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
		一部にチェックした場合はその説明		交通安全対策特別交付金														
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり		節	2	細節	30									
(6)	目 的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他												
			範囲等	市認定道路、市管理道路及び道路施設														
		目標 (どういう状態にしたいのか)	道路交通に関する安全の向上															
		結果 (どのような効果が得られるのか)	交通事故の減少により、安心・安全に暮らすことができる															
(7)	事業概要	市内各路線における歩道段差解消、道路照明、反射鏡、区画線、防護柵等設置工事																
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	2	目	6	大事業	1	中事業	1	小事業	1			
(9)	事業費と 財源の内訳	項 目			平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)									
					予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)									
		事業費(A)			50,000	49,394	50,000	48,424	50,000									
		人件費	職員数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00									
			総額(B)	千円	8,300	7,947	8,352	8,352	8,170									
		総事業費(A+B)			58,300	57,341	58,352	56,776	58,170									
		特定財源(C)			50,000	39,320	50,000	0	50,000									
		(内 訳)	国		0	0	0	0	0									
			府		0	0	0	0	0									
			その他		50,000	39,320	50,000	0	50,000									
		(内 訳)	市負担(D)		8,300	18,021	8,352	56,776	8,170									
			地方債		0	0	0	0	0									
			その他		0	0	0	0	0									
			一般財源		8,300	18,021	8,352	56,776	8,170									
			財源計(C+D)		58,300	57,341	58,352	56,776	58,170									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(有)西部安全													
				②	(株)オダ産業													
				③	(株)キタロード													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	交通安全施設の整備														
				①														
				②														
				③														
		<input type="checkbox"/> その他	内容															

2 評価の指標等

指 標 項 目				項 目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活 動 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00	
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00		
				達 成 度 (%)		0.0	0.0		
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00		
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00		
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00	
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00		
				達 成 度 (%)		0.0	0.0		
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00		
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00		
(2) 成 果 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00	
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00		
				達 成 度 (%)		0.0	0.0		
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00		
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00		
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00	
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00		
				達 成 度 (%)		0.0	0.0		
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00		
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00		
(3) が 困 難 な 場 合 示 す	①	活 動 内 容	交通安全施設等整備事業				目 標	通行の安全確保	
	②	成 果 内 容	歩道段差解消、道路照明、反射鏡、区画線、防護柵等設置工事				達 成 状 況	必要性に応じて実施	
(4) 総 合 評 価		今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 縮 小	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 終 期 の 設 定	
		評価の説明		継続して交通安全施設を整備することにより、交通事故の防止や交通の円滑化をはかり安心して暮らしていけるよう事業実施を行う。					

事務事業分析シート

所属名	道路室				
事務事業番号	00721	事業名	交通安全施設整備事業	事業区分	建設事業

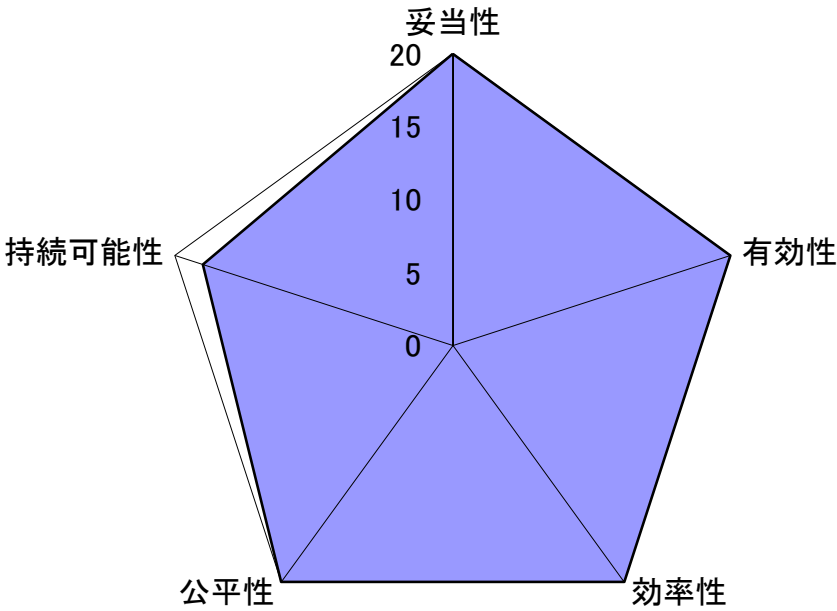
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2)	有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(3)	効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(4)	公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(5)	持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5)	持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	持続可能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)		98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路室	事務事業番号	00721
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	交通安全施設の新規設置及び施設の経年劣化による危険な箇所の緊急補修等、直接市民の安全にかかわる事業のため迅速な対応が求められている。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

2 評価の指標等

指 標 項 目				項 目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標 内容	橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕対策の実施数	目標値	(単位:橋)	3.00	4.00	5.00	
				実績値	(単位:橋)	3.00	3.00		
				達成度(%)		100.0	75.0		
		目標値 の積算 方法	実施計画に基づく修繕対策実施橋梁数 (調査設計、補修工事等の橋梁数合計)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	6,867.00	16,454.67		
					一般財源(単位:千円)	3,543.67	11,344.67		
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難 な 場 合 示 合 す	①	活動 内容					目標		
	②	成果 内容	調査設計の成果を、次年度の補修工事に反映させる。 補修工事を実施し、橋梁の長寿命化を図る。				達成 状況	詳細調査により損傷状況の把握、適正な補修工 法の選定することができた。補修工事は次年度に 繰越している。	
(4)総合評価		今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
		評価の説明		安心・安全への市民意識の高まり、国の防災への取組強化など、必要性は増加しており、部の重点課題として今後も取り組んでいく。 防災・安全に資する事業として交付金も重点配分されるので、積極的に活用し、コスト縮減を図りつつ安心安全の確保を目指す。					

事務事業分析シート

所属名	道路室				
事務事業番号	00722	事業名	橋梁新設改良事業	事業区分	建設事業

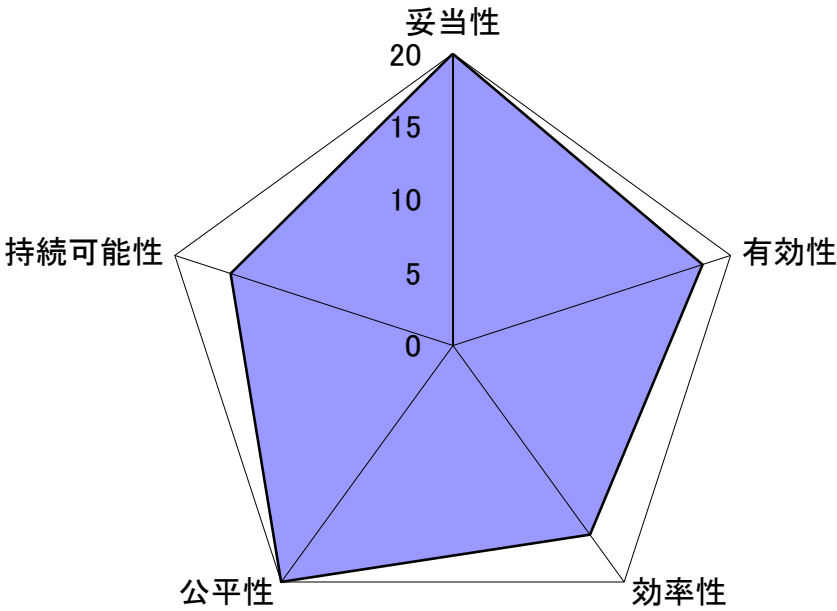
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2)	有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(3)	効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(4)	公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(5)	持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5)	持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
			b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	90		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
評価点合計 (100点満点)	90		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
			← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路室	事務事業番号	00722
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市が管理する橋梁は、現在179橋あり、このうち重要度の高い道路橋34橋については1970年代を中心に架設されており、建設から50年を経過する高齢化橋梁が今後急速に増加する。</p> <p>今後増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに対応するため、従来の対症療法型から予防保全型へ転換を図り、長寿命化修繕計画を平成24年度に策定した。平成25年度から、この計画に基づく対策を実施することで、コスト縮減及び安全性の確保を目指す。</p> <p>また、安心・安全への市民意識の高まり、国の防災への取組み強化など、必要性は増加している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	道路維持管理事業				
担当部名	土木部	室課名	道路室	室課長名	長 紳一郎

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし														
(2)	直 近 の 改 正	なし																
(3)	根拠法令等	道路法																
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)														
		一部にチェックした場合はその説明																
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	50										
(6)	目 的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他												
			範囲等	市認定道路、市管理道路及び道路施設														
		目標 (どういう状態にしたいのか)	緊急性の高い道路施設の破損箇所に対する迅速な対応及び補修															
		結果 (どのような効果が得られるのか)	道路施設の安全確保															
(7)	事業概要	道路施設の破損などに伴う緊急を要する対応及び補修																
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	4	目	1	大事業	1	中事業	1	小事業	1			
(9)	事業費と 財源の内訳	項 目			平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)									
					予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)									
		事業費(A)			7,181	6,028	1,200	835	0									
		人件費	職員数	人	0.50	0.10	0.30	0.30	0.00									
			総額(B)	千円	4,150	795	2,506	2,506	0									
		総事業費(A+B)			11,331	6,823	3,706	3,341	0									
		特定財源(C)			26	0	0	0	0									
		(内 訳)	国		0	0	0	0	0									
			府		0	0	0	0	0									
			その他		26	0	0	0	0									
		市負担(D)			11,305	6,823	3,706	3,341	0									
		(内 訳)	地方債		0	0	0	0	0									
			その他		0	0	0	0	0									
			一般財源		11,305	6,823	3,706	3,341	0									
		財源計(C+D)			11,331	6,823	3,706	3,341	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	森繁建設(株)													
				②	岩本工業(株)													
				③	八生建設(株)													
			主な委託内容	緊急性の高い道路施設の補修工事														
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①														
				②														
				③														
		<input type="checkbox"/> その他	内容															

2 評価の指標等

指 標 項 目				項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)					
(1) 活動指標	①	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00					
				実績値	(単位:)	0.00	0.00						
				達成度(%)		0.0	0.0						
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00						
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00						
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00					
				実績値	(単位:)	0.00	0.00						
				達成度(%)		0.0	0.0						
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00						
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00						
(2) 成果指標	①	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00					
				実績値	(単位:)	0.00	0.00						
				達成度(%)		0.0	0.0						
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00						
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00						
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00					
				実績値	(単位:)	0.00	0.00						
				達成度(%)		0.0	0.0						
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00						
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00						
(3) が困難な場合を示す	①	活動 内容	道路維持補修緊急工事				目標	通行の安全確保					
	②	成果 内容	緊急工事を実施				達成 状況	緊急性のある道路損傷に迅速に対応					
(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充		<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 縮小		<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 終期の設定	
		評価の説明		道路及び道路施設が何らかの原因により損傷し、歩行者や車両の通行が危険な状態になった時、安全確保のための応急対応が必要であるが、限定された予算のなか、より柔軟な応急対応を実現するためには、包括した事業としたうえで、平成28年度からは、関連する路線道路補修事業に統合することとした。									

事務事業分析シート

所属名	道路室				
事務事業番号	00723	事業名	道路維持管理事業	事業区分	内部管理

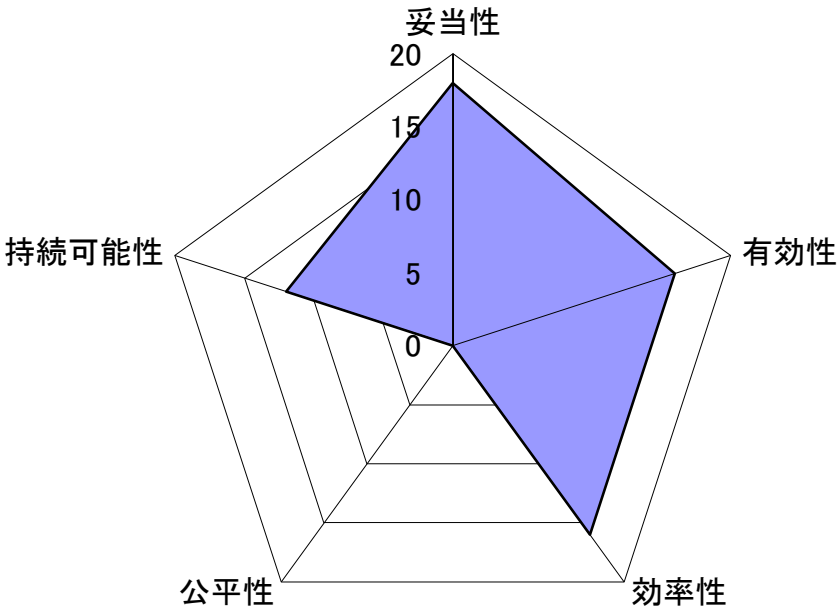
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点					
(1)	妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。					
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点			
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。					
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点			
(2)	有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。					
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。					
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。					
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点			
(3)	効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。					
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。					
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点			
			①単位当たりコストは適正ですか。					
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点			
(4)	公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。					
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点			
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。					
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。					
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点			
(5)	持続可能性 (20点)	12	①サービスの対象範囲は適正ですか。					
			内部管理		点			
			②サービスの水準は適正ですか。					
			内部管理		点			
			③適正な受益者負担を求めていますか。					
			内部管理		点			
(5)	持続可能性 (20点)	12	④公平性を確保するための取組みをしていますか。					
			内部管理		点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。					
			c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点			
(5)	持続可能性 (20点)	12	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。					
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。					
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点			
			評価点合計 (100点満点)		77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路室	事務事業番号	00723
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	道路及び道路施設が何らかの原因により損傷し、歩行者や車両の通行が危険な状態になった時、安全確保のための応急対応が求められることから、必要な事業との認識であるが、限定された予算のなか、より柔軟な応急対応を実現するためには、包括した事業としたうえで、関連する路線道路補修事業に平成28年度より統合することとする。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

2 評価の指標等

指 標 項 目				項 目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)					
(1) 活 動 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00					
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00						
				達 成 度 (%)		0.0	0.0						
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00					
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00						
				達 成 度 (%)		0.0	0.0						
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
(2) 成 果 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00					
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00						
				達 成 度 (%)		0.0	0.0						
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00					
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00						
				達 成 度 (%)		0.0	0.0						
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
(3) が 困 難 な 場 合 示 合 す	①	活 動 内 容	街路灯の電気料金の支払いと街路灯台帳整備				目 標	街路灯の適正な維持管理					
	②	成 果 内 容	維持補修により、街路灯(防犯灯)の維持管理を行っている				達 成 状 況	通行の安全性が確保されている					
(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡 充		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続		<input type="checkbox"/> 縮 小		<input type="checkbox"/> 廃 止		<input type="checkbox"/> 終 期 の 設 定	
		評価の説明		費用の内訳は、街路灯の電気料金がほぼ100%を占めている。夜間や地下道トンネルにおける安全通行上必要不可欠な事業である。									

事務事業分析シート

所属名	道路公園部 道路室				
事務事業番号	00724	事業名	街路灯經常管理事業	事業区分	内部管理

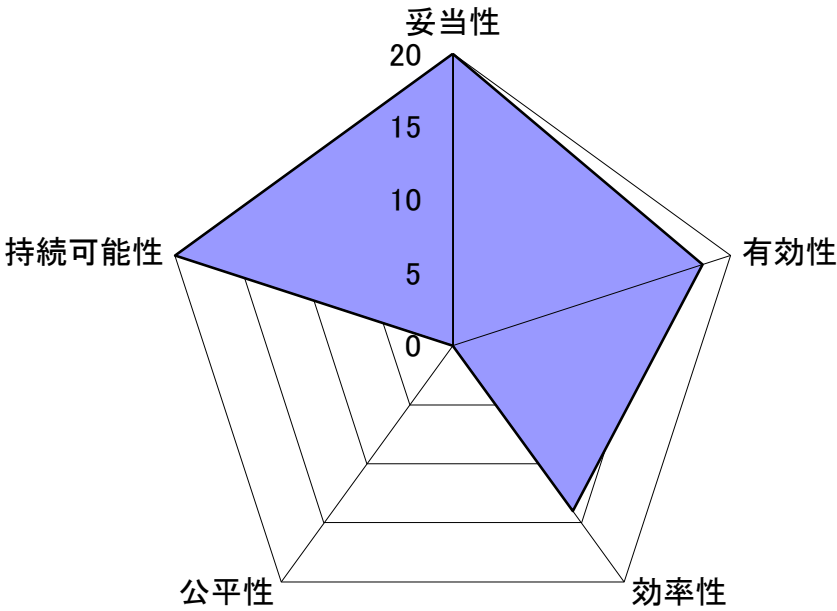
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点					
(1)	妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。					
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点			
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。					
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点			
(2)	有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。					
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。					
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。					
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点			
(3)	効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。					
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。					
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点			
			①単位当たりコストは適正ですか。					
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点			
(4)	公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。					
			b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点			
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。					
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。					
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。					
			内部管理		点			
			②サービスの水準は適正ですか。					
			内部管理		点			
			③適正な受益者負担を求めていますか。					
			内部管理		点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。					
			内部管理		点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。					
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。					
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点			
			評価点合計 (100点満点)		90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路公園部 道路室	事務事業番号	00724
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	費用の内訳は街路灯の電気料金がほぼ100%を占めている。夜間や地下道トンネルにおける安全通行上必要不可欠な事業である。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	街路灯(防犯灯)補修事業				
担当部名	土木部	室課名	道路室	室課長名	長 紳一郎

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直 近 の 改 正	なし													
(3)	根拠法令等	道路法													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)										
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	50							
(6)	目 的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
			範囲等	市が管理する街路灯(防犯灯)約20,000台											
		目標 (どういう状態にしたいのか)	街路灯の適正な維持管理												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	安全な通行と防犯												
(7)	事業概要	街路灯(防犯灯)の維持管理													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	4	目	2	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項 目			平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)						
					予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)						
		事業費(A)			57,060	60,069	177,537	168,882	174,297						
		人件費	職員数	人	1.50	1.70	1.50	1.50	2.00						
			総額(B)	千円	12,450	13,510	12,528	12,528	16,340						
		総事業費(A+B)			69,510	73,579	190,065	181,410	190,637						
		特定財源(C)			0	14	0	0	0						
		(内 訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	14	0	0	0						
		市負担(D)			69,510	73,565	190,065	181,410	190,637						
		(内 訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			69,510	73,565	190,065	181,410	190,637								
財源計(C+D)			69,510	73,579	190,065	181,410	190,637								
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	末廣電気工業株式会社										
				②	摂津電気工事株式会社 ほか										
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容											
				①	街路灯設置、管球取替等										
				②											
		<input type="checkbox"/> その他	内容												

2 評価の指標等

指 標 項 目				項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合 を示す	①	活動 内容	街路灯(防犯灯)の新設及び補修工事、管球取替等				目標	街路灯の適正な維持管理	
	②	成果 内容	維持補修により、街路灯(防犯灯)の維持管理を行っている				達成 状況	通行の安全性が確保されている	
(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
		評価の説明		市内街路灯の維持管理と共に新規設置や照度アップなどの要望も多く、夜間や地下道トンネルにおける安全通行に必要不可欠な事業である。					

事務事業分析シート

所属名	道路公園部 道路室				
事務事業番号	00725	事業名	街路灯(防犯灯)補修事業	事業区分	内部管理

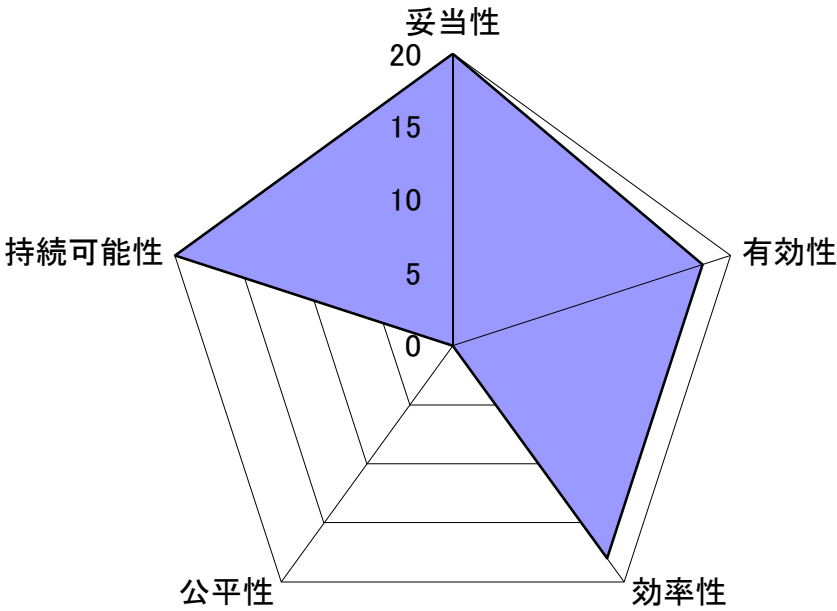
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点					
(1)	妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。					
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点			
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。					
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点			
(2)	有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。					
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。					
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。					
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点			
(3)	効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。					
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。					
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点			
			①単位当たりコストは適正ですか。					
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点			
(4)	公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。					
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点			
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。					
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。					
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。					
			内部管理		点			
			②サービスの水準は適正ですか。					
			内部管理		点			
			③適正な受益者負担を求めていますか。					
			内部管理		点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。					
			内部管理		点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。					
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。					
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点			
			評価点合計 (100点満点)		95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路公園部 道路室	事務事業番号	00725
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	新規設置や照度アップの要望も多く、夜間や地下道トンネルにおける安全通行に必要不可欠な事業である。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	道路受託復旧事業				
担当部名	土木部	室課名	道路室	室課長名	長 紳一郎

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直 近 の 改 正	なし													
(3)	根拠法令等	道路法、吹田市道路占用工作物工事執行規則													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)										
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	50							
(6)	目 的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
			範囲等	道路占用工事等に伴う掘削工事者											
		目標 (どういう状態にしたいのか)	道路構造の保全												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	一元的な道路管理												
(7)	事業概要	道路占用工事等に伴う掘削工事跡の路面復旧工事													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	4	目	3	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項 目			平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)						
					予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)						
		事業費(A)			292,687	232,514	292,687	266,467	232,514						
		人件費	職員数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00						
			総額(B)	千円	16,600	15,894	16,704	16,704	16,340						
		総事業費(A+B)			309,287	248,408	309,391	283,171	248,854						
		特定財源(C)			305,374	213,238	306,391	237,223	243,854						
		(内 訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		305,374	213,238	306,391	237,223	243,854						
		(内 訳)	市負担(D)		3,913	35,170	3,000	45,948	5,000						
			地方債	0	0	0	0	0							
				その他	0	0	0	0	0						
				一般財源	3,913	35,170	3,000	45,948	5,000						
財源計(C+D)			309,287	248,408	309,391	283,171	248,854								
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田土木工業(株)										
				②	和興建設工業(株)										
				③	八生建設(株)ほか										
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	舗装工事											
				①											
				②											
		<input type="checkbox"/> その他	内容												

2 評価の指標等

指 標 項 目				項 目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)					
(1) 活 動 指 標	①	指 標 内 容	受託復旧工事	目 標 値	(単 位 : 件)	0.00	0.00	0.00					
				実 績 値	(単 位 : 件)	748.00	773.00						
				達 成 度 (%)		0.0	0.0						
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総事業費 (単 位 : 千 円)	332.10	366.33						
					一般財源 (単 位 : 千 円)	53.61	59.44						
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00					
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00						
				達 成 度 (%)		0.0	0.0						
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総事業費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
					一般財源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
(2) 成 果 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00					
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00						
				達 成 度 (%)		0.0	0.0						
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総事業費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
					一般財源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00					
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00						
				達 成 度 (%)		0.0	0.0						
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総事業費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
					一般財源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
(3) が 困 難 な 場 合 を 示 す	①	活 動 内 容	道路占用工事等に伴う掘削工事跡の路面復旧工事				目 標	道路構造の保全					
	②	成 果 内 容	適切な道路状況の維持				達 成 状 況	一元的な道路管理					
(4) 総 合 評 価		今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡 充		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続		<input type="checkbox"/> 縮 小		<input type="checkbox"/> 廃 止		<input type="checkbox"/> 終 期 の 設 定	
		評価の説明		道路構造を適切に維持、保全して行くにあたり、一元的に管理する必要があるため、事業を継続していく必要がある。									

事務事業分析シート

所属名	道路室				
事務事業番号	00726	事業名	道路受託復旧工事	事業区分	建設事業

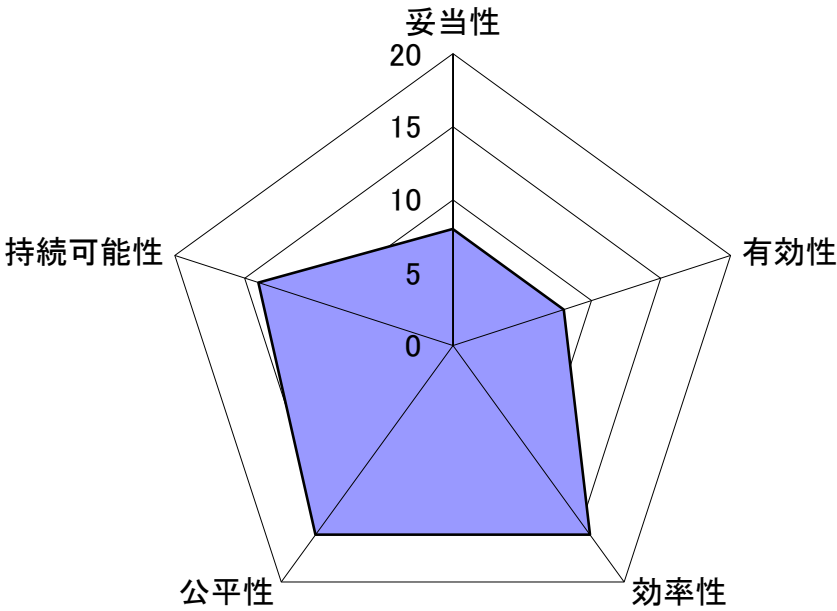
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点					
(1)	妥当性 (20点)	8	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。					
			b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点			
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。					
			c. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1	点			
(2)	有効性 (20点)	8	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。					
			c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。					
			c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。					
			c. 事業の目的と受益者はずれている。(1点)	1	点			
(3)	効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。					
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。					
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点			
			①単位当たりコストは適正ですか。					
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点			
(4)	公平性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。					
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点			
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。					
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。					
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点			
(5)	持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。					
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点			
			②サービスの水準は適正ですか。					
			b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点			
			③適正な受益者負担を求めていますか。					
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点			
(6)	持続可能性 (20点)	14	④公平性を確保するための取組みをしていますか。					
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点			
(7)	持続可能性 (20点)	14	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。					
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。					
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点			
			評価点合計 (100点満点)		62	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路室	事務事業番号	00726
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	一元管理により適切な道路構造に維持、保全に努めている。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

2 評価の指標等

指 標 項 目				項 目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)					
(1) 活 動 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00					
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00						
				達 成 度 (%)		0.0	0.0						
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00					
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00						
				達 成 度 (%)		0.0	0.0						
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
(2) 成 果 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00					
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00						
				達 成 度 (%)		0.0	0.0						
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00					
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00						
				達 成 度 (%)		0.0	0.0						
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
(3) が 困 難 な 場 合 を 示 す	①	活 動 内 容	街路樹等の維持管理				目 標	安全で快適な道路整備					
	②	成 果 内 容	道路機能の向上と道路環境の安全性				達 成 状 況	年度毎に除草・剪定の執行					
(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡 充		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続		<input type="checkbox"/> 縮 小		<input type="checkbox"/> 廃 止		<input type="checkbox"/> 終 期 の 設 定	
		評価の説明		道路等の除草及び剪定は通行の安全及び環境保持また、まちに潤いを与えるため必要不可欠な事業です。毎年開発等により管理面積増で業務量は増大し、予算は今の財政事情から縮小しており、更なる手法の検討が必要です。									

事務事業分析シート

所属名	土木部 道路室				
事務事業番号	00727	事業名	街路樹等維持管理事業	事業区分	内部管理

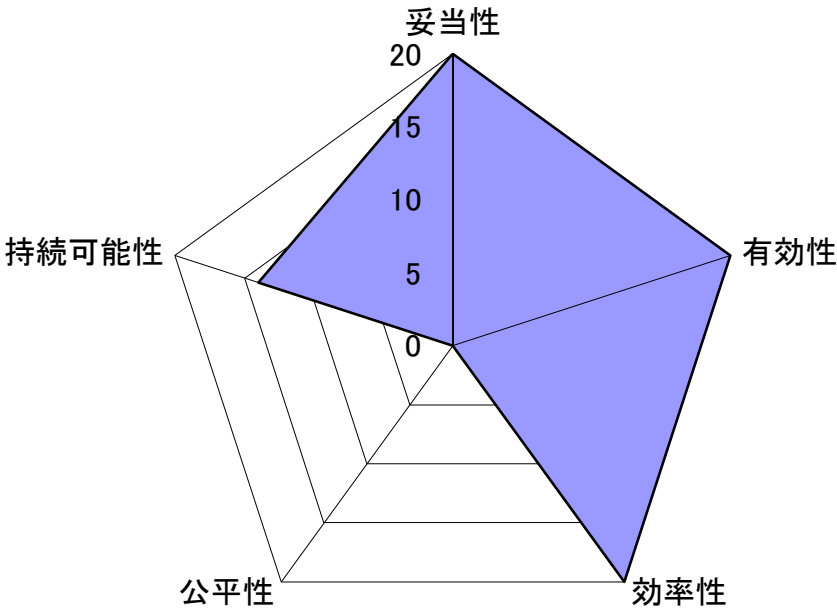
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2)	有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(3)	効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(4)	公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(5)	持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5)	持続可能性 (20点)	14	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
			c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
評価点合計 (100点満点)	92		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
評価点合計 (100点満点)	92		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
			← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	土木部 道路室	事務事業番号	00727
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>街路樹は景観向上、環境保全、緑陰形成、交通安全、防災等に係る多様な機能を有しています。地球温暖化問題が深刻化する昨今、都市域の街路樹には二酸化炭素の吸収源として期待されており、必要不可欠な事業です。都市計画道路や開発等により年々管理面積は増えている状況であり、事業費は右肩上がりの傾向を見込んでいます。樹木の巨木化や老朽化により倒木、落枝等により市民の生命、財産を奪う恐れもあることから、平成27年度において、樹木健全度調査を実施し、特に危険度が高いと判定された街路樹については、当年度内に剪定及び伐採を実施しました。平成28年度以降も引き続き、危険木への対応が急がれます。事業の継続にあたっては、従来の剪定等に係る維持管理に係る経費に加え、危険木に対応するための予算確保が課題となっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	草花等維持管理事業				
担当部名	土木部	室課名	道路室	室課長名	長 紳一郎

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし														
(2)	直 近 の 改 正	なし																
(3)	根拠法令等	道路法																
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)														
		一部にチェックした場合はその説明																
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	50										
(6)	目 的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他												
			範囲等	緑地、花壇														
		目標 (どういう状態にしたいのか)	緑地、花壇の良好な維持管理															
		結果 (どのような効果が得られるのか)	快適な道路交通環境が得られる															
(7)	事業概要	道路管理区域の花壇の草花植付及び維持管理																
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	5	目	8	大事業	1	中事業	2	小事業	1			
(9)	事業費と 財源の内訳	項 目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)										
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)										
		事業費(A)		10,199	10,162	10,163	10,154	10,163										
		人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30										
			総額(B)	千円	2,490	2,385	2,506	2,451										
		総事業費(A+B)		12,689	12,547	12,669	12,660	12,614										
		特定財源(C)		0	0	0	0	0										
		(内 訳)	国	0	0	0	0	0										
			府	0	0	0	0	0										
			その他	0	0	0	0	0										
		市負担(D)		12,689	12,546	12,669	12,660	12,614										
		(内 訳)	地方債	0	0	0	0	0										
			その他	0	0	0	0	0										
			一般財源	12,689	12,546	12,669	12,660	12,614										
		財源計(C+D)		12,689	12,546	12,669	12,660	12,614										
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	公益社団法人吹田市シルバー人材センター													
				②	社会福祉法人さつき福祉会													
				③														
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	緑地と花壇に草花植付及び維持管理														
				①														
				②														
				③														
		<input type="checkbox"/> その他	内容															

2 評価の指標等

指 標 項 目				項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)					
(1) 活動指標	①	指標 内容	各花壇に植付した草花株数	目標値	(単位:株)	58,664.00	58,667.00	0.00					
				実績値	(単位:株)	58,664.00	58,667.00						
				達成度(%)		100.0	100.0						
		目標値 の積算 方法	植付予定草花株数	単位当たり コスト	総事業費(単位:千円)	0.21	0.22						
					一般財源(単位:千円)	0.21	0.22						
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00					
				実績値	(単位:)	0.00	0.00						
				達成度(%)		0.0	0.0						
		目標値 の積算 方法		単位当たり コスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00						
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00						
(2) 成果指標	①	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00					
				実績値	(単位:)	0.00	0.00						
				達成度(%)		0.0	0.0						
		目標値 の積算 方法		単位当たり コスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00						
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00						
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00					
				実績値	(単位:)	0.00	0.00						
				達成度(%)		0.0	0.0						
		目標値 の積算 方法		単位当たり コスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00						
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00						
の(3) が指標 で示す 困難な 場合	①	活動 内容	花壇の草花の植付及び維持管理			目標	快適な道路交通環境						
	②	成果 内容	道路美化促進			達成 状況	道路管理区域の花壇の適正な維持管理						
(4)総合評価		今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充		<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 縮小		<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 終期の設定	
		評価の説明		道路環境の美化及び憩いを提供しており、吹田市シルバー人材センター(高年齢者等の雇用の安定等に関する法律)及びさつき福祉会(障害者優先調達法)との委託により安価で執行できており、今後も継続していかねばならない事業である。									

事務事業分析シート

所属名	土木部 道路室				
事務事業番号	00728	事業名	草花等維持管理事業	事業区分	内部管理

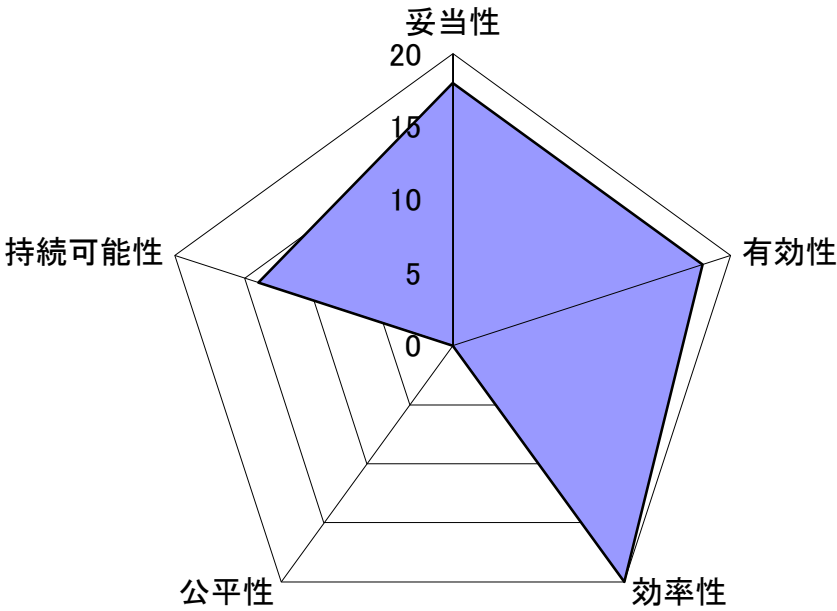
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2)	有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(3)	効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(4)	公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(5)	持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5)	持続可能性 (20点)	14	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
			b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	87		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
			← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	土木部 道路室	事務事業番号	00728
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	道路環境の美化及び憩いと潤いを提供しており、吹田市シルバー人材センター(高齢者等の雇用の安定等に関する法律)や、さつき福祉会(障害者優先調達推進法)との委託により財源的にも有利であり、今後も継続していかなければならない事業である。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

2 評価の指標等

指 標 項 目				項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標 内容	交通バリアフリー化の整備路線数	目標値	(単位:件)	2.00	3.00	3.00	
				実績値	(単位:件)	2.50	2.50		
				達成度(%)		125.0	83.3		
		目標値 の積算 方法	実施計画に基づく整備路線数 (設計、工事等の路線数合計)	単位当たり コスト	総事業費(単位:千円)	4,753.60	22,940.00		
					一般財源(単位:千円)	954.00	15,020.00		
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当たり コスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当たり コスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当たり コスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(3) が 困難な 場合 を示す	①	活動 内容	特定経路、生活関連経路等のバリアフリー化整備を行う			目標	道路施設機能の改良を行い、安全で快適な道路環境整備を促進して、社会生活の安全性及び利便性の向上を図る。	
		②	成果 内容	高齢者、障がい者等の移動の利便性及び安全性を向上させることができ、さらには、自立した日常生活及び社会生活を営むことができる社会を構築する。			達成 状況	平成27年度末現在、バリアフリー化整備率は46.8%。	
	(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
			評価の説明	本格的な高齢社会を迎え、今後さらなる高齢化が進展することが見込まれる中、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」を実現するためには、高齢者や障がい者なども含めた、あらゆる人たちが自立した日常生活及び社会生活を営むことができる社会を早期に構築しなければならない。特に、移動の利便性の向上は、このような社会を実現するうえで重要な手段であり、さらには自立と社会参加による、健全で活力ある社会の実現するためには、重点的に実施していかなければならない事業である。 また、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に基づき定められた基本方針の中で、生活関連経路等については、平成32年度末までに原則全ての移動等円滑化を実施することとなっており、事業の継続は不可欠である。					

事務事業分析シート

所属名	道路室				
事務事業番号	00729	事業名	交通バリアフリー道路特定事業	事業区分	建設事業

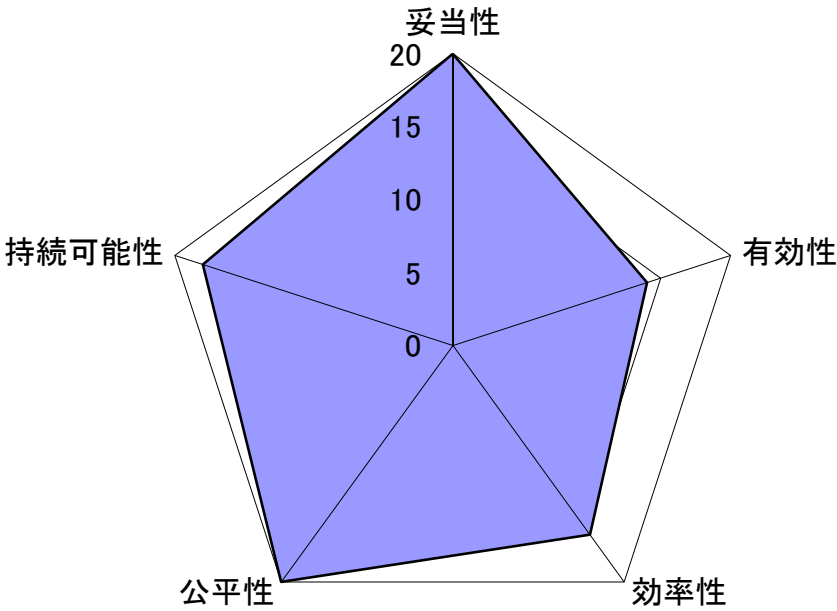
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2)	有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			c. 事業の進捗はかなり遅れている。(1点)	1	点
(3)	効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(4)	公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(5)	持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。		
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5)	持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
			b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点	
評価点合計 (100点満点)		88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路室	事務事業番号	00729
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	バリアフリー化工事の財源の問題等から、平成27年度末時点での市道のバリアフリー化整備率は49.1%と低迷な状況となっているが、バリアフリー基本方針において、生活関連経路を構成する全ての道路のバリアフリー化の目標年度が平成32年度末となっていることから、今後重点的に実施する必要がある。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度末時点で、吹田市内の生活関連経路等に指定されている府道のバリアフリー化整備率は92.0%となっている。

事務事業評価調書

事務事業名	緑あふれる未来サポーター事業（道路）				
担当部名	土木部	室課名	道路室	室課長名	長 紳一郎

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成16年度	改正 内容	なし														
(2)	直 近 の 改 正	なし																
(3)	根拠法令等	道路法																
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）														
		一部にチェックした場合はその説明																
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	4	細節	20										
(6)	目 的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
			範囲等	地元自治会、市民グループ、市管理道路														
		目標 (どういう状態にしたいのか)	道路の美化推進と市民参加の推進															
		結果 (どのような効果が得られるのか)	地域の道路環境が向上し、愛着の持てる道路となる															
(7)	事業概要	地域市民参加を拡大し、その活動力を源とし、活動の輪を広げ清掃活動等による道路美化を増進し、道路環境の向上を図る																
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	2	目	2	大事業	4	中事業	1	小事業	1			
(9)	事業費と 財源の内訳	項 目			平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)									
					予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)									
		事業費(A)			3,568	3,221	3,332	3,157	3,505									
		人件費	職員数	人	0.10	0.20	0.20	0.20	0.20									
			総額(B)	千円	830	1,590	1,671	1,671	1,634									
		総事業費(A+B)			4,398	4,811	5,003	4,828	5,139									
		特定財源(C)			0	0	0	0	0									
		(内 訳)	国		0	0	0	0	0									
			府		0	0	0	0	0									
			その他		0	0	0	0	0									
		市負担(D)			4,398	4,810	5,003	4,828	5,139									
		(内 訳)	地方債		0	0	0	0	0									
			その他		0	0	0	0	0									
			一般財源		4,398	4,810	5,003	4,828	5,139									
		財源計(C+D)			4,398	4,810	5,003	4,828	5,139									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)コウシン建設													
				②														
				③														
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容														
				①														
				②														
				③														
		<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	散水栓設置														
				協定締結団体による美化活動の実施														

2 評価の指標等

指 標 項 目				項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標 内容	新規認定団体数	目標値	(単位:団体)	6.00	6.00	6.00	
				実績値	(単位:団体)	3.00	3.00		
				達成度(%)		50.0	50.0		
		目標値 の積算 方法	過去二年実績平均値の倍増を目標値とする。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,604.00	1,609.33		
					一般財源(単位:千円)	1,604.00	1,609.33		
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標 内容	活動団体数	目標値	(単位:団体)	44.00	45.00	47.00	
				実績値	(単位:団体)	38.00	41.00		
				達成度(%)		86.4	91.1		
		目標値 の積算 方法	前年度末時点活動団体数＋新規認定団体数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	126.63	117.76		
					一般財源(単位:千円)	126.63	117.76		
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合示す	①	活動 内容					目標		
	②	成果 内容					達成 状況		
(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
		評価の説明	花壇管理を希望する団体が増えているが、予算が不足しているため予算要求を行っていく。また各団体の高齢化が進んでおり新規活動参加者の確保を考えていかなければならない。 道路美化及び道路環境の向上については、市民の意識が年々高まっており市民参加の清掃活動は、道路美化を行う上で重要と考えており、費用対効果としては不法投棄の減少、道路美化、市民意識の向上等様々な効果があげられる。						

事務事業分析シート

所属名	道路公園部 道路室				
事務事業番号	00730	事業名	緑あふれる未来サポーター事業	事業区分	その他

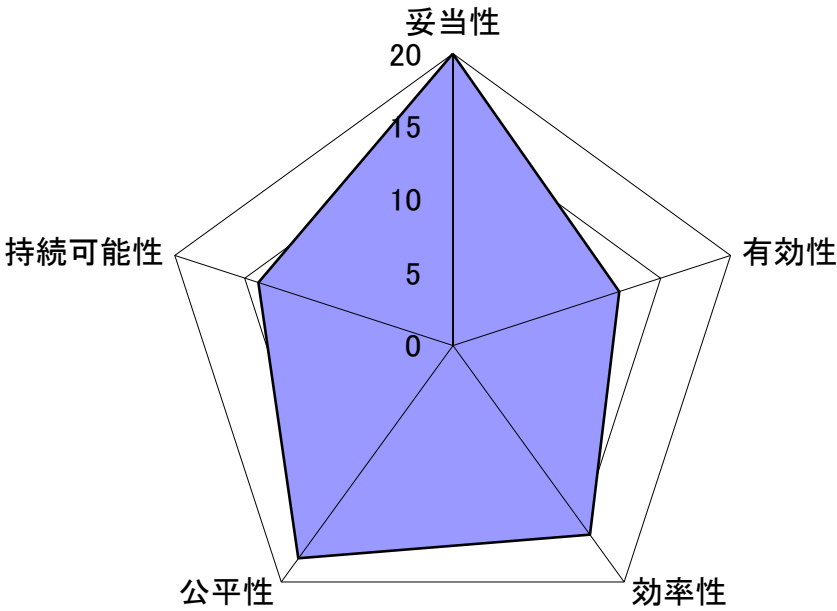
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点					
(1)	妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。					
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点			
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。					
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点			
(2)	有効性 (20点)	12	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。					
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。					
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。					
			b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点			
(3)	効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。					
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。					
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点			
			①単位当たりコストは適正ですか。					
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点			
(4)	公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。					
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点			
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。					
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。					
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点			
(5)	持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。					
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点			
			②サービスの水準は適正ですか。					
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点			
			③適正な受益者負担を求めていますか。					
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	14	④公平性を確保するための取組みをしていますか。					
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	14	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。					
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。					
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点			
			評価点合計 (100点満点)		80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路公園部 道路室	事務事業番号	00730
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	花壇管理を希望する団体が増えているが、花苗購入予算が不足しているため要求していきたい。また各団体の高齢化が進んでおり新規活動参加者の確保を考えていかなければならない。道路美化及び道路環境の向上については、市民の意識が年々高まっており市民参加の清掃活動は道路美化を進めるうえで重要と考えており、費用対効果として不法投棄の減少、道路美化、市民意識の向上等様々な効果があげられる事業である。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

2 評価の指標等

指 標 項 目				項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標 内容	街路樹を診断する。	目標値	(単位:本)	0.00	11,955.00	0.00	
				実績値	(単位:本)	0.00	11,955.00		
				達成度(%)		0.0	100.0		
		目標値 の積算 方法	平成27年度:本格調査11, 955本	単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	8.56		
					一般財源(単位:千円)	0.00	5.44		
	②	指標 内容	(仮称)樹木適正管理指針を策定する。	目標値	(単位:式)	0.00	0.00	1.00	
				実績値	(単位:式)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法	平成28年度:(仮称)樹木適正管理指針一 式	単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標 内容	街路樹の倒伏による事故件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:件)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法	無事故を目標とし、年間0件とする。	単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(3) が 困 難 な 場 合 す	①	活動 内容				目標		
		②	成果 内容				達成 状況		
(4)総合評価		今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
		評価の説明	本事業は、一斉に植えられ同様に50年近くの樹齢を重ねた千里ニュータウン等の樹木が危険木となるリスクが高まっている状況において、樹木の倒伏による市民の生命・財産に関わる事故を未然に防止するとともに、副次的な効果としてみどりの機能を増進するため、国の地域住民生活等緊急支援交付金や本市緑化推進基金等を財源として、緊急的・優先的に実施しているものである。事業開始年度である平成26年度には街路樹等維持管理事業によりパイロット調査を実施し、平成27年度(平成26年度繰越予算)には本事業により本格調査を実施した。平成28年度には調査結果を踏まえた(仮称)樹木適正管理指針を策定予定である。 現状分析結果が、全ての視点(妥当性・有効性・効率性・公平性・持続可能性)について適正であったため、継続して事業を実施すべき。						

事務事業分析シート

所属名	道路公園部 道路室				
事務事業番号	00731	事業名	樹木健全度緊急調査事業	事業区分	その他

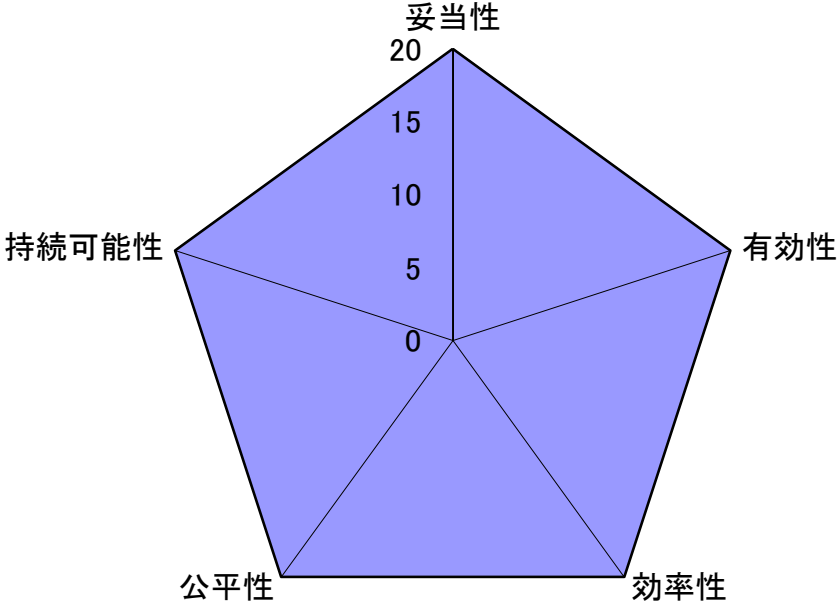
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点					
(1)	妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。					
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点			
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。					
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点			
(2)	有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。					
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。					
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。					
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点			
(3)	効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。					
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。					
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点			
			①単位当たりコストは適正ですか。					
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点			
(4)	公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。					
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点			
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。					
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。					
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。					
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点			
			②サービスの水準は適正ですか。					
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点			
			③適正な受益者負担を求めていますか。					
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。					
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。					
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。					
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点			
			評価点合計 (100点満点)		100	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路公園部 道路室	事務事業番号	00731
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<div></div>		
(3)現状分析	<p>本事業は、平成26年(2014年)に入り、日本各地で倒木による死亡事故等が相次ぎ発生したこと等を踏まえ、市民の生命・財産を守るため、緊急的に事業化したものである。全ての視点(妥当性・有効性・効率性・公平性・持続可能性)について、適正である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	道路経常管理事業				
担当部名	土木部	室課名	道路室	室課長名	長 紳一郎

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし														
(2)	直 近 の 改 正	なし																
(3)	根拠法令等	道路法																
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)														
		一部にチェックした場合はその説明																
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	50										
(6)	目 的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他												
			範囲等	主要道路施設														
		目標 (どういう状態にしたいのか)	道路施設の適正な維持管理															
		結果 (どのような効果が得られるのか)	道路の安全な通行と主要道路施設の適切な維持管理															
(7)	事業概要	主要道路施設の維持管理のための光熱水費、委託料(地下道排水ポンプ、地下道電気設備、エレベーター、エスカレーター等の点検及び駅前 の清掃等)、消耗品の購入																
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	2	目	2	大事業	1	中事業	1	小事業	1			
(9)	事業費と 財源の内訳	項 目			平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)									
					予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)									
		事業費(A)			150,130	133,061	175,169	165,115	153,725									
		人件費	職員数	人	7.50	7.80	6.20	6.20	7.20									
			総額(B)	千円	62,250	61,987	51,783	51,783	58,824									
		総事業費(A+B)			212,380	195,048	226,952	216,898	212,549									
		特定財源(C)			6,286	6,680	6,595	6,444	6,588									
		(内 訳)	国		0	0	0	0	0									
			府		0	0	0	0	0									
			その他		6,286	6,680	6,595	6,444	6,588									
		市負担(D)			206,094	188,368	220,357	210,454	205,961									
		(内 訳)	地方債		0	0	0	0	0									
			その他		0	0	0	0	0									
			一般財源		206,094	188,368	220,357	210,454	205,961									
		財源計(C+D)			212,380	195,048	226,952	216,898	212,549									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	竹中管工													
				②	三菱電機ビルテクノサービス													
				③	都市クリエイト 他													
			主な委託内容	地下道排水ポンプ保守点検、電気設備保守他														
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①														
				②														
				③														
		<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	エスカレーター等の電気料金 水景施設の水道料金の執行等														

2 評価の指標等

指 標 項 目				項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標 内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
				実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合示す	①	活動 内容	主要道路施設の維持管理及び管理用消耗品の購入				目標	道路施設の適正な維持管理	
	②	成果 内容	定期的な保守点検等により道路施設の安全、快適な環境を確保している				達成 状況	安全性が確保されている	
(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
		評価の説明		道路施設維持管理の光熱水費や委託料が主な事業内容であり、適正な維持管理を行い安全を維持していくために必要な事業である。					

事務事業分析シート

所属名	道路公園部 道路室				
事務事業番号	01103	事業名	道路経常管理事業	事業区分	内部管理

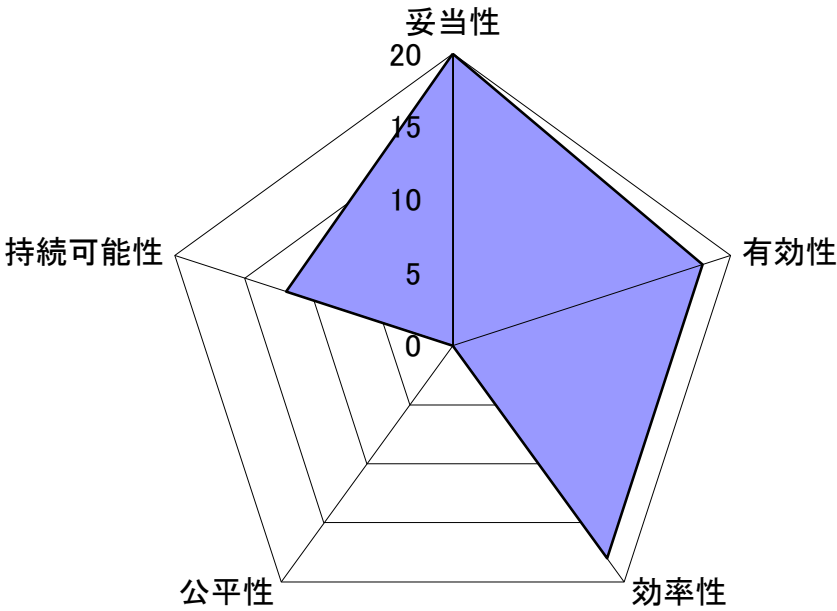
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点					
(1)	妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。					
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点			
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。					
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点			
(2)	有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。					
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。					
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。					
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点			
(3)	効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。					
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。					
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点			
			①単位当たりコストは適正ですか。					
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点			
(4)	公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。					
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点			
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。					
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。					
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点			
(5)	持続可能性 (20点)	12	①サービスの対象範囲は適正ですか。					
			内部管理		点			
			②サービスの水準は適正ですか。					
			内部管理		点			
			③適正な受益者負担を求めていますか。					
			内部管理		点			
(5)	持続可能性 (20点)	12	④公平性を確保するための取組みをしていますか。					
			内部管理		点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。					
			c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点			
(5)	持続可能性 (20点)	12	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。					
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。					
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点			
			評価点合計 (100点満点)		85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路公園部 道路室	事務事業番号	01103
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	道路施設維持管理の光熱水費や委託料が主な事業内容であり、今後、道路施設の多様化やエレベーターやエスカレーターの管理台数の増加により費用は増加傾向である		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

2 評価の指標等

指 標 項 目				項 目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)					
(1) 活 動 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00					
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00						
				達 成 度 (%)		0.0	0.0						
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00					
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00						
				達 成 度 (%)		0.0	0.0						
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
(2) 成 果 指 標	①	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00					
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00						
				達 成 度 (%)		0.0	0.0						
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
	②	指 標 内 容		目 標 値	(単 位 :)	0.00	0.00	0.00					
				実 績 値	(単 位 :)	0.00	0.00						
				達 成 度 (%)		0.0	0.0						
		目 標 値 の 積 算 方 法		単 位 当 た り コ ス ト	総 事 業 費 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
					一 般 財 源 (単 位 : 千 円)	0.00	0.00						
(3) が 困 難 な 場 合 示 合 す	①	活 動 内 容	路面性状調査				目 標	老朽化が進む道路ストックの損傷状況を把握するための点検を継続して実施する					
	②	成 果 内 容	平成27年度は、大型車の通行が可能で一定の交通量が見込まれる路線の路面性状調査を実施				達 成 状 況	平成27年度50. 8km実施					
(4) 総合評価		今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡 充		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続		<input type="checkbox"/> 縮 小		<input type="checkbox"/> 廃 止		<input type="checkbox"/> 終 期 の 設 定	
		評価の説明		引続き主要道路、橋梁の通行安全性を確保していく必要があるため									

事務事業分析シート

所属名	道路室				
事務事業番号	01456	事業名	道路ストック総点検事業	事業区分	その他

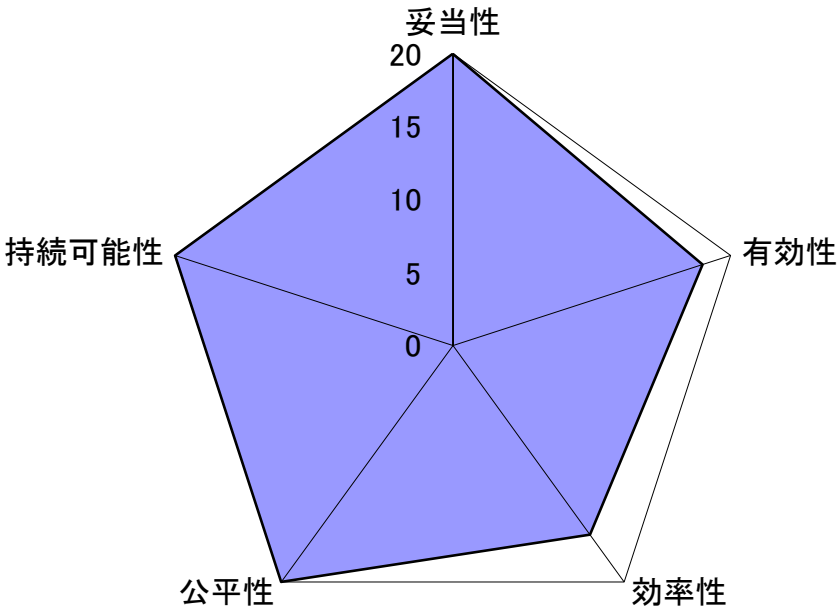
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点					
(1)	妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。					
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点			
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。					
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点			
(2)	有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。					
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。					
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。					
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点			
(3)	効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。					
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。					
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点			
			①単位当たりコストは適正ですか。					
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点			
(4)	公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。					
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点			
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。					
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。					
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。					
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点			
			②サービスの水準は適正ですか。					
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点			
			③適正な受益者負担を求めていますか。					
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。					
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。					
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点			
(5)	持続可能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。					
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。					
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点			
			評価点合計 (100点満点)		94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	道路室	事務事業番号	01456
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	道路ストックの老朽化が徐々に進んでいく中で、現状の施設の点検を行うだけでなく、今後はその点検結果に基づき、各施設において効率的で効果的な維持管理を計画的に行っていくことが必要であると思われます。また、点検後に補修が必要と判断された施設において、それらの補修費用の確保が今後の課題になってくると思われます。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

道路法施行規則の改正(平成26年7月1日施行)により、橋梁・トンネル等は、5年に1度、近接目視による全数監視の実施が義務付けられたため、今後は橋梁等の点検において、実施時期の全体調整が必要となってきます。